

デジタルスチル レコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



DATA

DKR-700

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4~6ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記されています。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたりキャビネットを破損したときは



- ① 電源を切る。
- ② 電源コードや接続コードを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡する。

この装置は、第一種情報装置（商工業地域において使用されるべき情報装置）で、商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。

したがって、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。

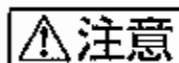
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

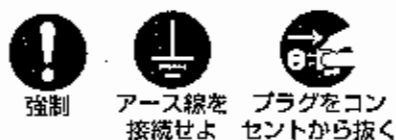
注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



目次

△警告	4	画像の消去	34
△注意	5	画像を1枚ずつ消去する	34
		ディスクに記録された画像をすべて消去する	34
概要	7	メニュー操作	35
特長	7	メニューの構成	35
使用例	8	メニュー操作に使用するキー	36
使用上のご注意	9	メインメニューの構成と使いかた	36
各部の名称と働き	10	Source Setup メニューの構成と使いかた	37
DKR-700 本体	10	Capture/Rec Setup メニューの構成と使いかた	38
リモートコントロールユニットRM-C700 (別売り)	14	Play Setup メニューの構成と使いかた	40
準備	16	Disp Setup メニューの構成と使いかた	41
接続	16	System Setup メニューの構成と使いかた	41
DIPスイッチの設定	17	User Setup メニューの構成と使いかた	43
ミニディスクについて	17	付録	45
本機の起動とディスクの出し入れ	18	仕様	45
ディスクの初期化	19	エラーメッセージおよび警告メッセージ	46
時計の設定	19	故障かなと思ったら	47
本機の状態を確認する	20	フットスイッチによる画像の取り込みタイミング	48
保証書とアフターサービス		保証書とアフターサービス	49
画像の記録	21		
記録の準備	21		
画像を1枚ずつ記録する—ステップ記録	22		
画像を自動的に記録する—インターバル記録	23		
フットスイッチFS-20 (別売り) を使って記録する	23		
フットスイッチFS-30 (別売り) を使って記録する	24		
画像の再生と検索	25		
再生/検索の準備	25		
画像を1枚ずつ再生する—ステップ再生	26		
画像を自動的に再生する—インターバル再生	26		
画像番号を指定して目的の画像を再生する—ダイレクト			
アクセス再生 (RM-C700接続時)	27		
検索用画像を見ながら目的の画像を探す	27		
検索情報リストから目的の画像を探す	28		
画像データの管理 (RM-C700接続時)	30		
ID 番号/画像名/ディスク名の入力に使用するキー	30		
ディスク名を設定/変更する	31		
ID 番号を設定/変更する	31		
画像名を設定/変更する	32		



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがにつながる可能性があります。



分解禁止

分解しない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げの販売代理店またはソニーのサービス窓口へ交換をご依頼ください。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



強制

本機は日本国内用です

交流100Vでお使いください。

海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となります。



下記の注意を守らないと、

けがをしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



強制

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



強制

指定された電源コード、接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コード、接続コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。



アース線を
接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。
安全アースを取り付けることができない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 10cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

製品の上に乗らない、重い物を乗せない

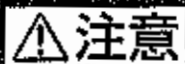
倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



注意

下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



強制

移動させるときは電源コード、接続コードを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

概要

デジタルステルレコーダーDKR-700は、静止画像をミニディスクに記録または再生する静止画ファイリング装置です。

特長

DKR-700(以下本機と言います。)には次のような特長があります。

記録媒体としてミニディスクを採用

本機は、ソニーピクチャーMD規格に準拠して、データ用ミニディスクMMD-140(140Mバイト容量)同等品に画像を記録します。ミニディスクは、光磁気記録媒体として耐久性・信頼性に優れていると同時に、1枚で最大1000枚もの画像を記録できるため、画像1枚あたりのコストが低くなります。

デジタル圧縮記録

最新のデジタル技術により、水平解像度480TV本以上の高画質を実現しています。汎用性の高いJPEGおよびTIFF(非圧縮時)方式を採用しているため、市販のソフトウェアでも画像を確認できます。

画質の選択が可能

記録時に、非圧縮、ファイン、ノーマル、クイック2、クイック1の5種類の画質を選択できます。特に高い画質が要求される医療分野から、記録枚数や検索速度が重視されるファイリングシステムまで、幅広い用途に対応できます。

画像情報を同時記録

画像記録時に、日時(年/月/日/時/分/秒)と画像番号が自動的に記録/更新されます。別売りのリモートコントロールユニットRM-C700やコンピューターなどを接続すると、さらに画像のID番号(15桁)や画像名(数字またはアルファベットで15文字まで)などの情報を付けることもできます。

充実した検索機能

画像番号/ID番号/画像名/日時などの画像情報に加え、検索用画像(25枚マルチ表示)による検索が可能です。

メニューによるセットアップ

ビデオ入出力端子や記録時の画質の選択などの基本的な設定の他に、記録・再生モード、動作状況/セットアップ状態の表示、システムコントロールに関するセットアップを、メニューで実行します。

多様なビデオ入出力端子を装備

RGB、コンポジット、Sビデオの3種類のアナログビデオ入出力端子を装備しています。ソース機器として、ビデオカメラやVTRはもとより、医療用撮像機器やレーザーディスクなど幅広く選択できます。また、出力機器として、ビデオモニターやプロジェクター、ビデオプリンターなどを接続できます。

外部機器によるコントロール

外部機器の接続端子として、RS-232Cインターフェース端子、SCSIインターフェース端子などを装備しています。リモートコントロールユニットRM-C700(別売り)やコンピューターの他に、3接点フットスイッチFS-30(別売り)、1接点フットスイッチFS-20(別売り)などを接続して、本機を外部からコントロールすることができます。

目的に応じた記録/再生モードの選択が可能

指定した画像を1枚ずつ記録/再生(ステップ記録/再生)したり、画像を順に連続記録/再生(インターバル記録/再生)することができます。

撮像機器との同調機能

画像記録時にフラッシュトリガー信号を発生するため、フラッシュに同調して画像が取り込めます。ソニービデオカメラDXC-950シリーズとの組み合わせでは、スロー電子シャッター機能により、蛍光灯微鏡など低照度の映像でも鮮明に記録することができます。

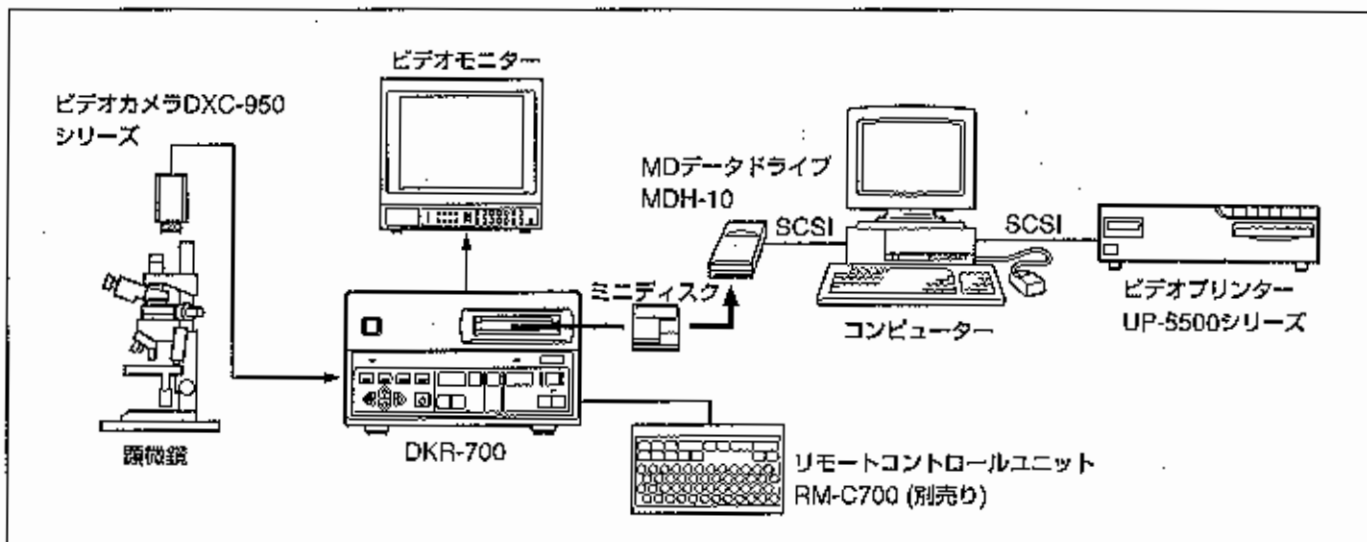
使用例

300倍率顕微鏡の接続

医療・工業計測分野における画像ファイリングシステム

医療機器や、工業計測機器と組み合わせて、画像ファイリングシステムを構成します。本機では、記録媒体としてデータ用ミニディスクを使用し、汎用性の高いJPEGフォーマットの画像を記録（非圧

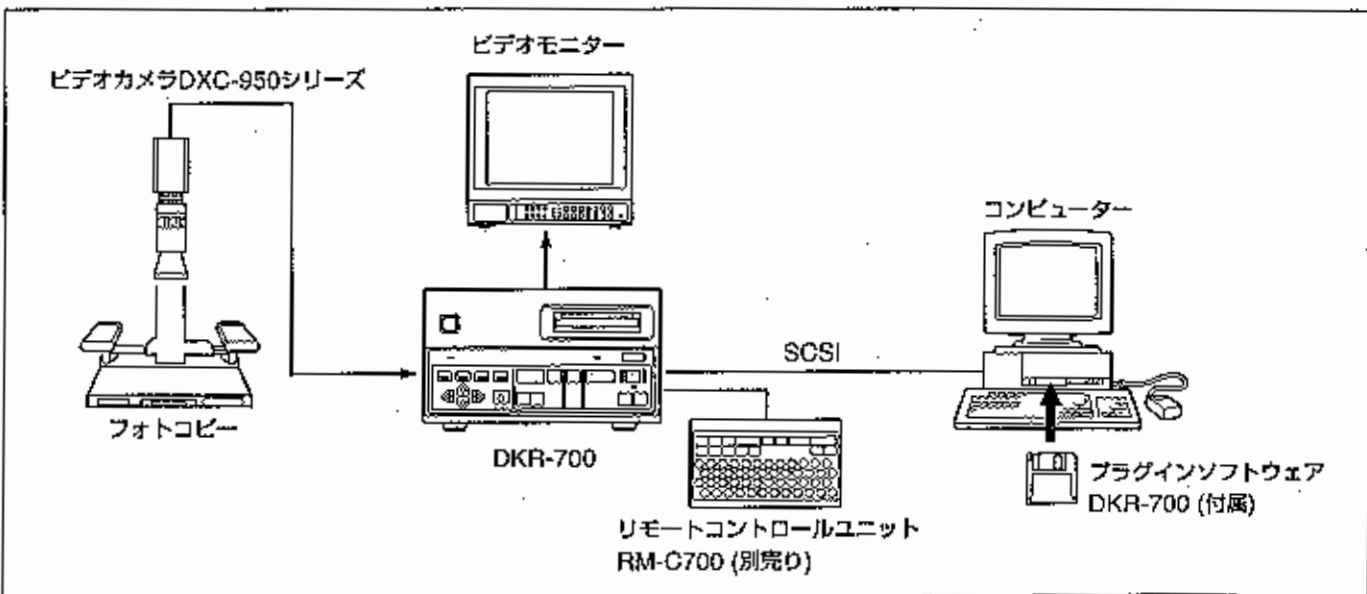
縮時はTIFF)するため、市販のコンピューターソフトウェアを使って直接読み出すことができます。



コンピューターによるイメージプロセッシングシステム

MS-Windows[®]対応のDKR-700プラグインソフトウェア（付属）を使うと、SCSIインターフェースを介してコンピューターと画像データを

やりとりできます。本機からコンピューターに画像を転送し、コンピューターで加工して、CGの静止画作成に利用できます。

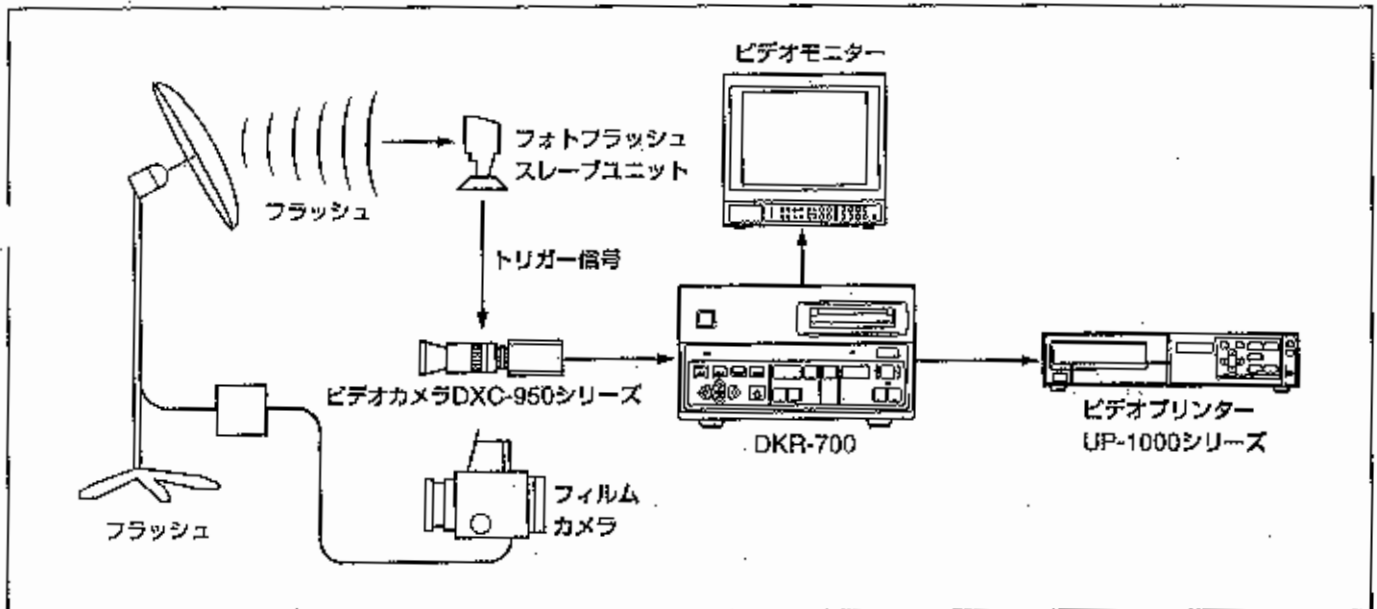


1) MS-Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

フォトブルーシステム

フィルムカメラでの撮影時に、同時にビデオカメラDXC-950シリーズで画像を撮影して本機で記録しておく、撮影状態をDPE前に確認できます。ビデオカメラからのトリガー信号にタイミングを合わせて自動記録したり、本機からフラッシュトリガーを発生して、撮影

のタイミングをコントロールすることもできます。写真スタジオでのフォトブルーの他に、工業検査用の撮影や、眼底カメラでの撮影にも応用できます。



使用上のご注意

使用・保管場所

次のような場所での使用および保管は避けてください。

- 極端に寒いところや暑いところ (使用温度は5°C~35°Cです)
- 直射日光が長時間当たるところや暖房器具の近く (真夏の窓を締め切った自動車内では50°Cを越えることがありますので、ご注意ください)
- 湿気、ほこりの多いところ激しく振動するところ
- 強い磁気を発生するものの近く
- 強力な電波を発生するテレビ、ラジオの送信所の近く

水平位置で使用してください

本機は水平位置で使用するように設計してあります。垂直にしたり、極端に(20°以上)傾けて使うことは避けてください。

強い衝撃を与えないでください

落としたりして強い衝撃を与えると故障することがあります。

通風口をふさがないようにしてください

温度上昇を防ぐため、動作中に布などで包まないでください。

定期点検

定期点検の必要はありません。

お手入れ

キャビネットやパネルの汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れをふきとり、乾いた布で仕上げてください。アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など、揮発性のものをかけると、変質したり塗装がはげたりすることがあります。

輸送のときは

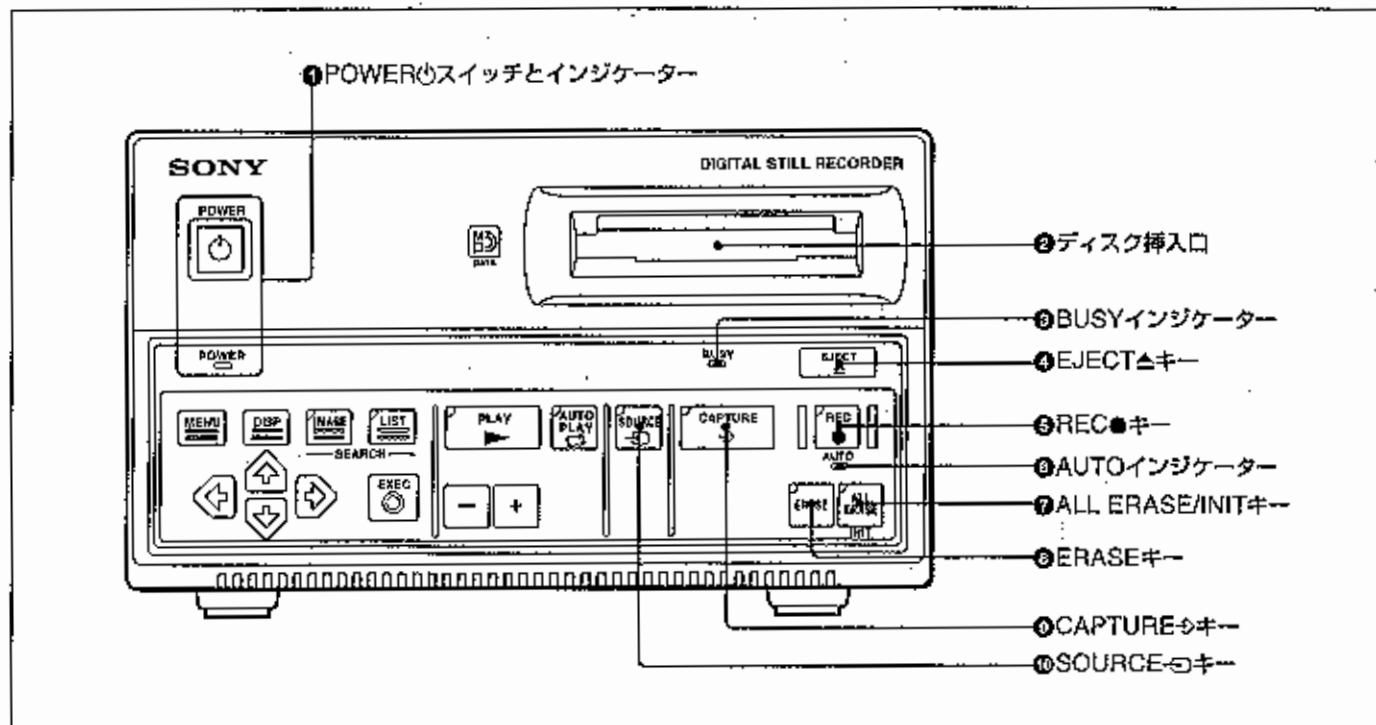
- ミニディスクは必ず取り出しておいてください。
- 付属の Karton、または同等品で梱包し、急激な衝撃を与えないように注意してください。

各部の名称と働き

DKR-700本体

点滅する点滅する点滅する点滅する

電源およびデータ記録/消去操作部 (前面)



①POWER (電源) スイッチとインジケータ

押すと本機に電源が入り、再度押すと電源が切れます。電源が入るとインジケータが点灯します。BUSYインジケータが点灯または点滅しているときにPOWERスイッチを押すと、内部処理の終了後、電源が切れます。

②ディスク挿入口

ディスクを挿入します。

③BUSY (ビジー) インジケータ

ディスクが動作中または本機のメモリー上に未記録のデータが存在するときに、点灯または点滅します。点灯している間、EJECTキー

④以外のキーは働きません。

注意

BUSYインジケータが点灯または点滅しているときは、本機のAC電源コードをコンセントから抜かないでください。本機への電源供給が断たれると、ディスクに記録された内容が消失または破損することがあります。

④EJECT (イジェクト) キー

押して、ディスクを取り出します。

⑤REC (記録) キー

押すと点灯し、記録が始まります。記録が終わると、自動的に消灯します。

⑥AUTO (自動記録) インジケータ

メニューで自動記録を実行している間点灯します。

◆ 自動記録について詳しくは、「画像を自動的に記録する—インターバル記録」(23ページ)をご覧ください。

⑦ALL ERASE (一括消去) /INIT (初期化) キー

押すと、ディスクに記録された全画像を消去できます。また、ディスクを初期化するのに使用します。

本機に内容を消去したいディスクを入れてこのキーを押すと、キーが点滅します。そこで再度このキーを押すと、キーが点灯し、消去が始まります。

初期化されていないディスクや本機に対応しない形式で初期化されたディスクを入れると、このキーが点滅し、キーを押すとディスクの初期化が始まります。

⑧ ERASE (消去) キー

PLAYキーを使ってある画像を再生しているときに押すと、このキーが点滅します。そこで再度このキーを押すと、キーが点灯し、再生中の画像が消去されます。消去が終わると、キーは自動的に消灯します。

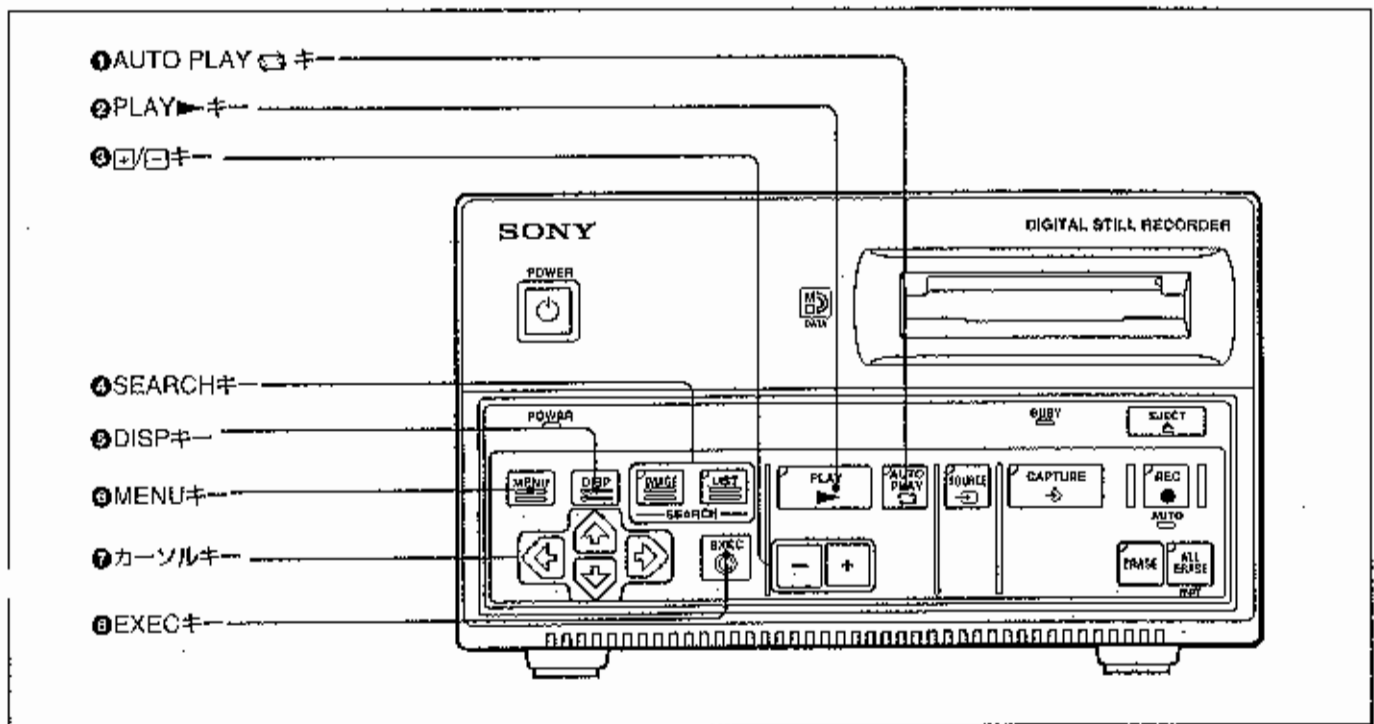
⑨ CAPTURE ⇄ (キャプチャー) キー

押すと点灯し、本機に入力されたビデオ信号が、本機の内部メモリーに記憶され、同時に後面のビデオ出力端子から出力されます。

⑩ SOURCE ⇄ (ソース) キー

押すと点灯し、本機に入力されたビデオ信号が、後面のビデオ出力端子から出力されます。電源投入時には、このキーが点灯します。

メニューおよび画像再生/検索操作部 (前面)



① AUTO PLAY ⇄ (自動再生) キー

押すと点灯し、ディスクに記録されている全画像を、連続して再生できます。画像を再生する向きや、何秒おきに画像を切り換えるかを、あらかじめメニューで設定できます。

② PLAY ▶ (再生) キー

押すと点灯し、ディスクに記録されている画像のうちの1枚を再生できます。サーチ画面 (SEARCHキー④参照) で目的の画像を選択してから押すと、その画像が現れます。本画像を再生するか、クイックアクセス画像を再生するかを、あらかじめメニューで選択できます。

③ □/□ キー

ある画像を再生しているとき▶キーを押すと、現在の画像より画像番号の大きい画像を再生することができます。□キーを押すと、現在の画像より画像番号の小さい画像を再生することができます。サーチ画面 (SEARCHキー④参照) では、検索用画像や画像情報リストのページを切り換えます。

【注意】

ディスクに、本機以外の機器で記録された画像が保存されているときは、画像番号が連続しないことがあります。

各部の名称と働き

④SEARCH (サーチ) キー

それぞれ押すと点灯し、スクリーンにサーチ画面が現れます。画像で検索するときはIMAGEキーを押し、画像情報で検索するときはLISTキーを押します。

IMAGE (イメージ) キーを押すと：ディスクに記録されている画像をマルチ表示 (25画面) します。カーソルキー⑦で目的の画像を選択してPLAYキー②を押すと、その画像がスクリーンに現れます。

LIST (リスト) キーを押すと：ディスクに記録されている画像の情報 (画像番号、画像名、ID番号、日付) のリストを表示します。カーソルキー⑦で目的の画像を選択してPLAYキー②を押すと、その画像がスクリーンに現れます。

⑥DISP (ディスプレイ) キー

押すと、スクリーンに本機のセットアップ状態や動作状況がスーパーインポーズされます。表示する項目は、あらかじめメニューで設定できます。再度押すと表示が消えます。

⑤MENU (メニュー) キー

押すと、スクリーンにメニューが現れます。再度押すとメニューが消えます。

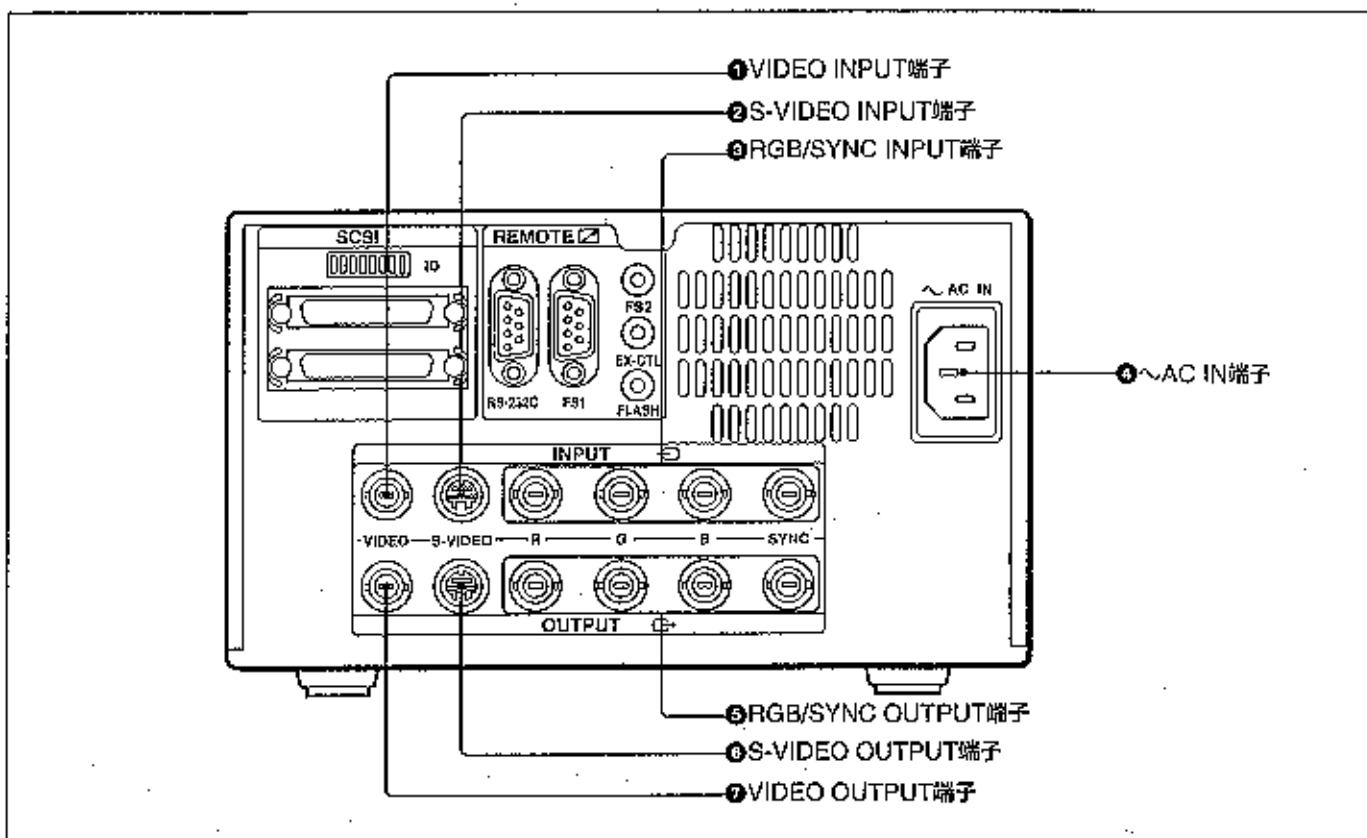
⑦カーソルキー

メニュー (MENUキー⑤参照) で、設定項目を選択したり (◀または▶キー)、設定内容や条件を変更する (⏪または⏩キー) ときに使用します。また、サーチ画面 (SEARCHキー④参照) で、目的の画像を選択するときにも使用します。

③EXEC (実行) キー

メインメニューからセットアップメニューを呼び出すときや、設定内容を確認するときを使用します。メニューを使っていない場合は、本機のメモリー上に存在する未記録データを記録するときに使用します。(未記録データが存在すると、BUSYランプが点滅します。)

電源およびビデオ入出力端子 (後面)



①VIDEO INPUT (ビデオ入力) 端子 (BNC型)

ビデオカメラやVTRなどのビデオ出力端子と接続します。

②S-VIDEO INPUT (Sビデオ入力) 端子 (ミニDIN 4ピン)

ビデオカメラやVTRなどのSビデオ出力端子と接続します。

③RGB/SYNC INPUT (R、G、B、シンク入力) 端子 (BNC型)

それぞれビデオカメラなどのR、G、B、シンク出力端子と接続します。

④〜AC IN (電源入力) 端子 (3ピン)

付属のAC電源コードで、AC電源に接続します。

⑤RGB/SYNC OUTPUT (R、G、B、シンク出力) 端子 (BNC型)

それぞれビデオモニターやビデオプリンターなどのR、G、B、シンク入力端子と接続します。

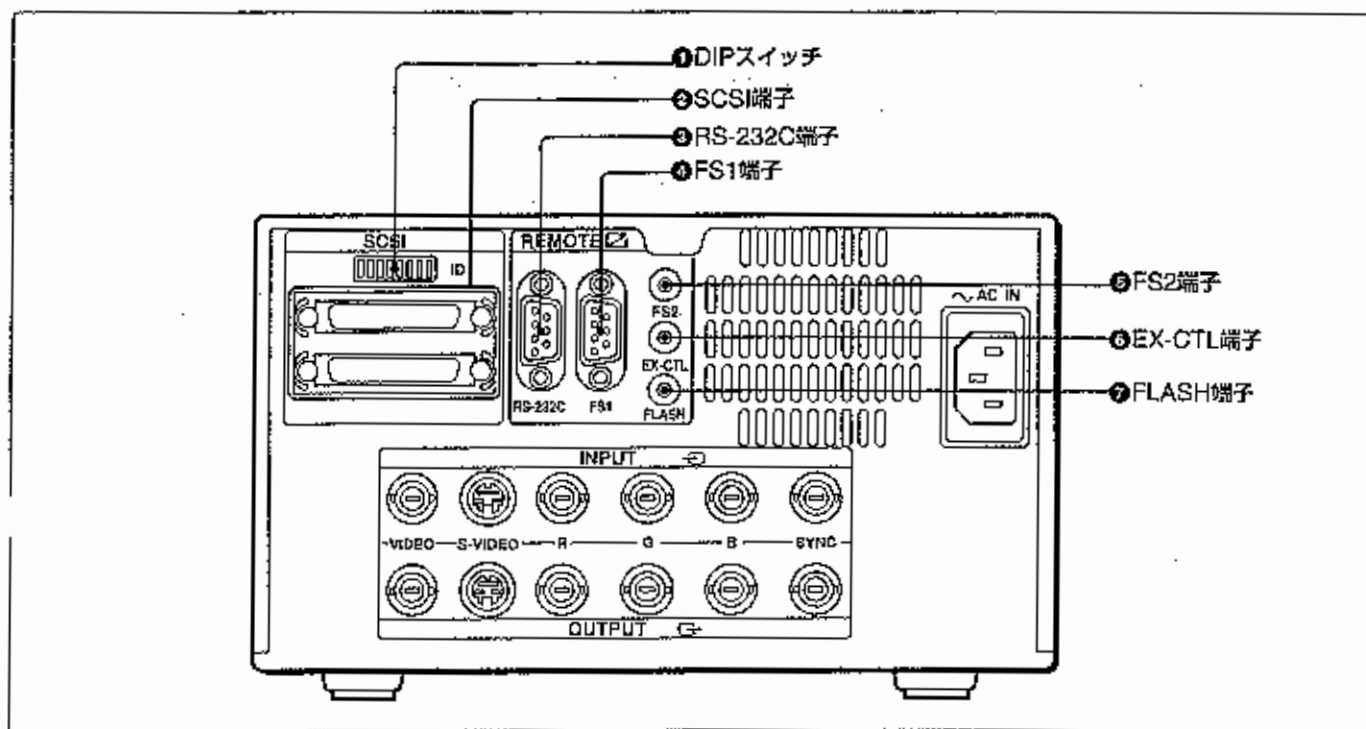
⑥S-VIDEO OUTPUT (Sビデオ出力) 端子 (ミニDIN 4ピン)

ビデオモニターなどのSビデオ入力端子と接続します。

⑦VIDEO OUTPUT (ビデオ出力) 端子 (BNC型)

ビデオモニターやVTRなどのビデオ入力端子と接続します。

リモート端子 (後面)



①DIPスイッチ

本機のSCSI IDおよび動作モードを設定します。

②SCSI端子 (50ピン、ハーフピッチ)

コンピューターと接続して、画像データをやりとりします。

③RS-232C端子 (D-sub 9ピン)

別売りのリモートコントロールユニットRM-C700またはコンピューターを接続して、本機を外部操作します。どちらを接続するか、あらかじめメニューで設定します。

④FS1 (フットスイッチ1) 端子 (D-sub 9ピン)

別売りのフットスイッチFS-30を接続します。

⑤FS2 (フットスイッチ2) 端子 (ステレオミニジャック)

別売りのフットスイッチFS-20を接続します。

⑥EX-CTL (外部コントロール) 端子 (ミニジャック)

必要に応じて外部機器を接続します。

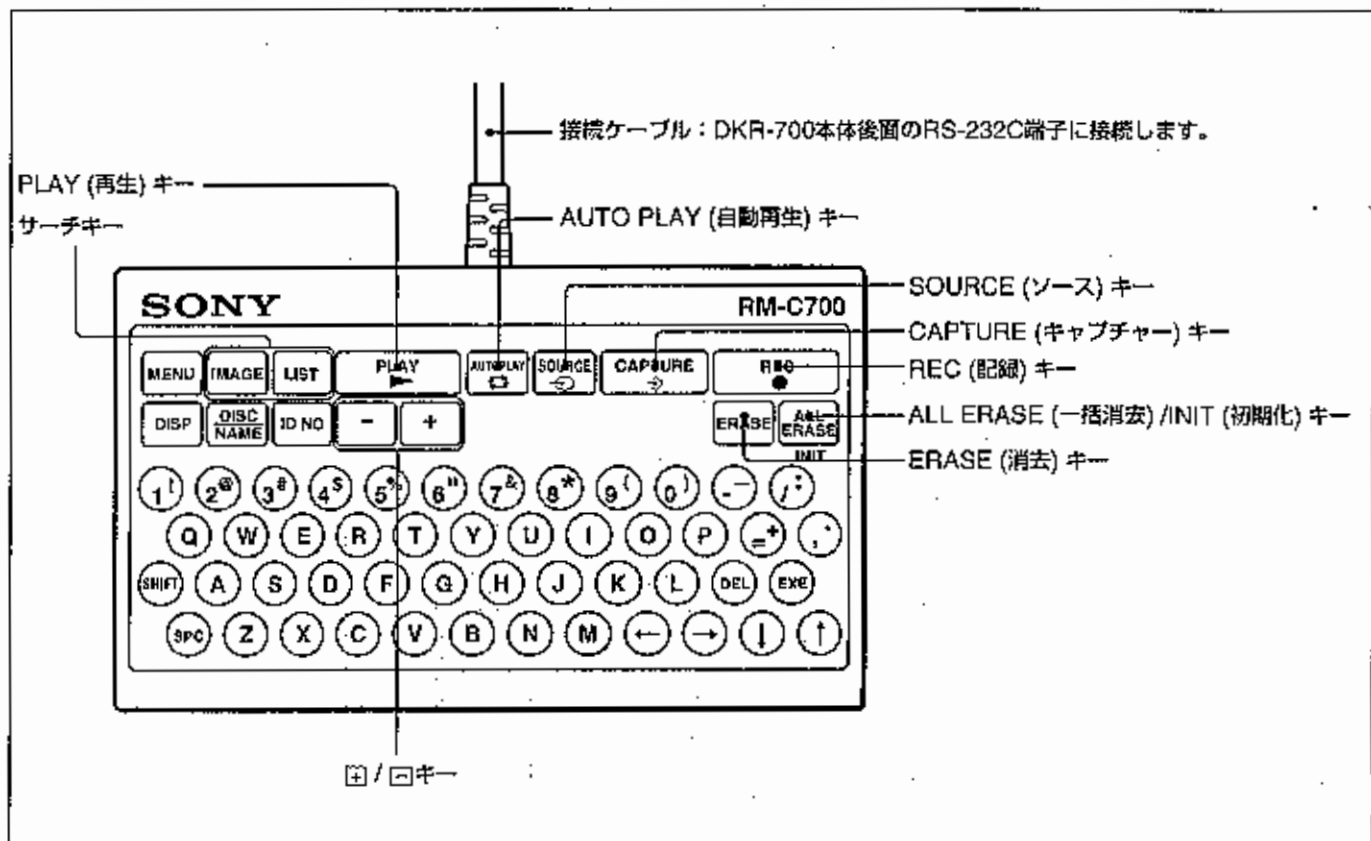
⑦FLASH (フラッシュ) 端子 (ミニジャック)

市販のフラッシュの外部リガー入力端子と接続します。

リモートコントロールユニットRM-C700 (別売り)

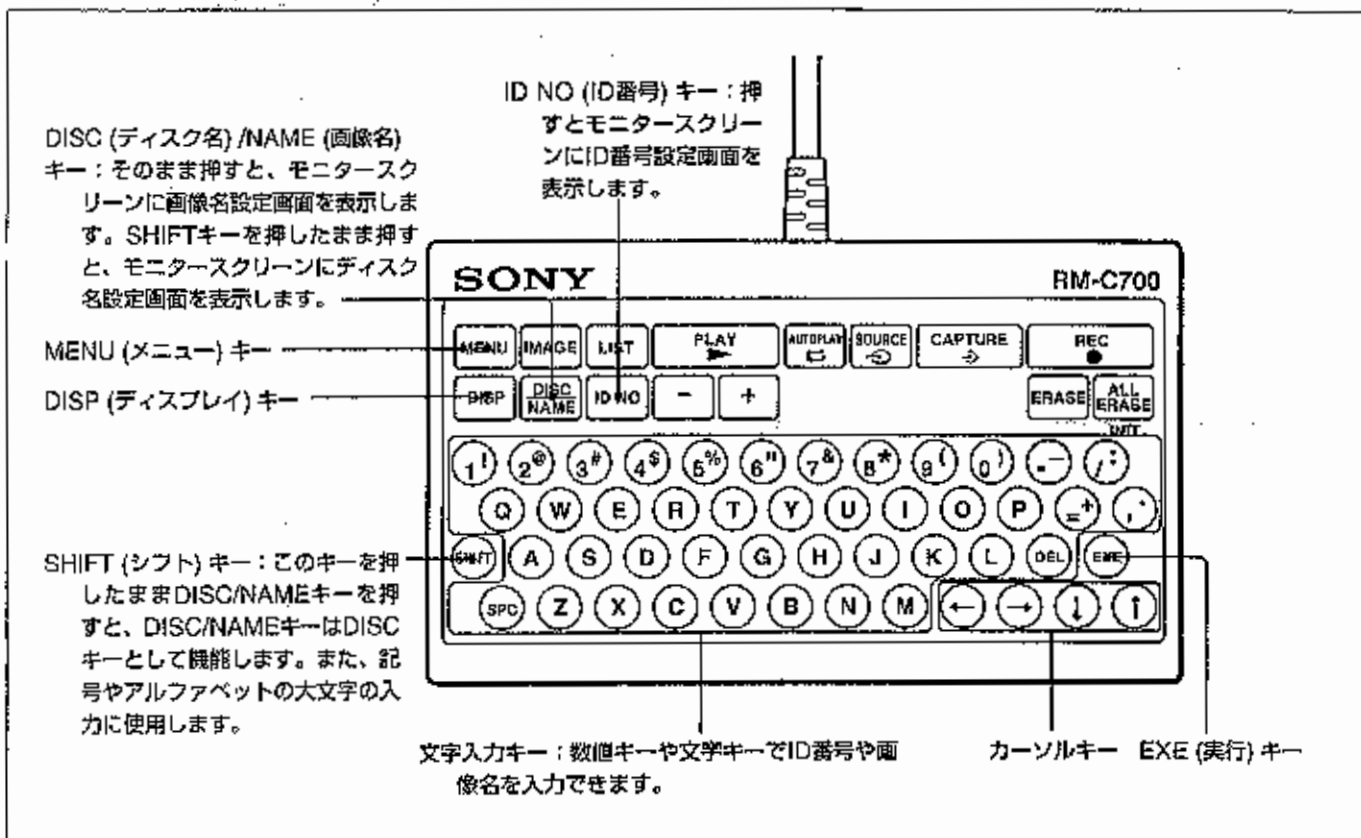
記録/再生操作部

◆ 各キーの機能については、DKR-700本体の対応するキーの説明をご覧ください。



メニュー/文字入力操作部

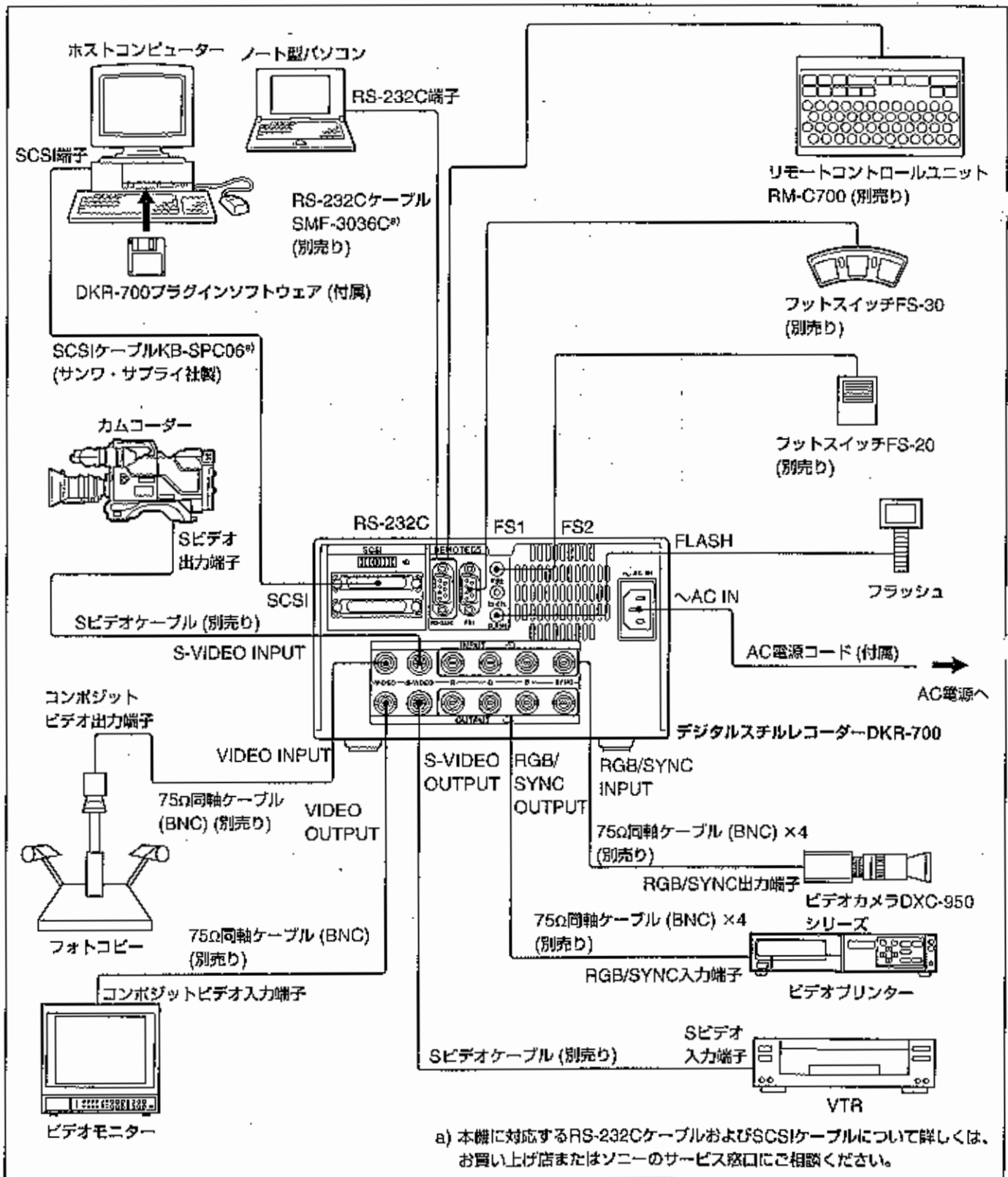
- ◆ MENU、DISP、カーソル、EXEキーの機能については、DKR-700本体の対応するキーの説明をご覧ください。
- ◆ 文字入力キーについて詳しくは、「ID番号/画像名/ディスク名の入力に使用するキー」(30ページ)をご覧ください。



準備

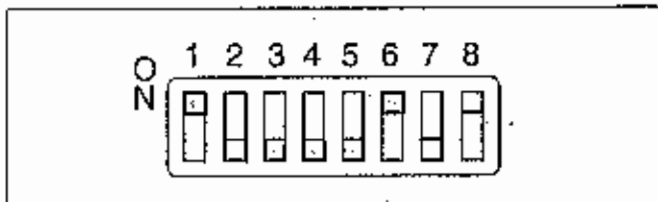
接続

使用目的に応じて必要な機器を、下図に示すように本機に接続します。



DIPスイッチの設定

必要に応じてDIPスイッチを設定します。
(SCSI端子を使うときは、必ずSCSI IDを設定してください。)



DIPスイッチ

各スイッチの設定と機能を下表に示します。

スイッチ番号	機能	設定
1	SCSI端子の終端	SCSI端子を内部で終端するときONに設定する。
2	FS1端子、FS2端子に接続されたフットスイッチを使って、入力画像を本機のメモリーに取り込むときのタイミングの設定	下表参照
3	FS1端子、FS2端子に接続されたフットスイッチを使って、入力画像を本機のメモリーに取り込むときのタイミングの設定	下表参照
4	未使用	OFFに設定する。
5	未使用	OFFに設定する。
6	SCSI IDの設定	下表参照
7	SCSI IDの設定	下表参照
8	SCSI IDの設定	下表参照

画像取り込みタイミングの設定

スイッチ2	スイッチ3	画像をメモリーに取り込むタイミング
OFF	OFF	トリガー信号が入力されてから3つめのフィールド(タイミング1) ^{a)}
OFF	ON	トリガー信号が入力されてから2つめのフィールド(タイミング2) ^{b)}
ON ^{a)}	OFF ^{b)}	トリガー信号が入力されてから1つめのフィールド(タイミング3) ^{b)}

a) スイッチ2がONでスイッチ3がOFFのときは、System SetupメニューのFlashがOnに設定されていても、FLASH端子から信号は出力されません。

b) タイミング1~3について詳しくは、「フットスイッチによる画像の取り込みタイミング」(48ページ)をご覧ください。

SCSI IDの設定

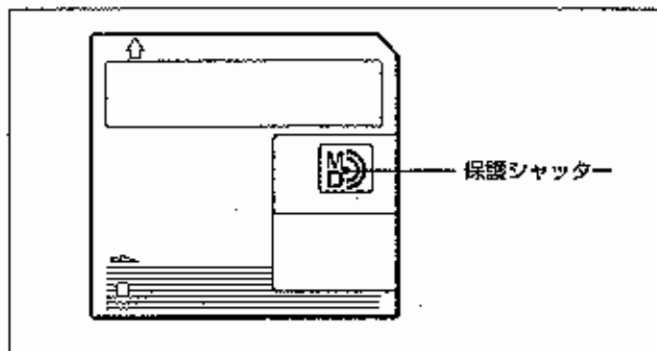
SCSI ID	0	1	2	3	4	5	6	7
スイッチ6	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON
スイッチ7	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON
スイッチ8	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON

ミニディスクについて

本機では、データ用ミニディスクMMD-140相当品を使用します。

ミニディスクの取り扱い

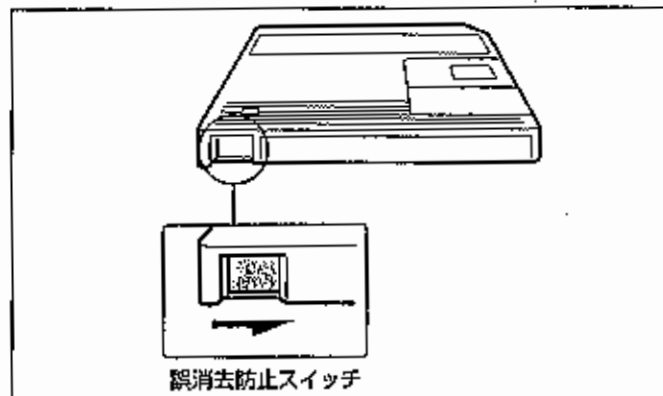
- 保護シャッターを開けないでください。ディスク面に直接触れると、傷ついたり汚れたりしてデータが読み出せなくなったり、エラーが発生することがあります。



- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く、ほこりの多いところに置かないでください。
- ミニディスクは、クリーニングする必要はありません。

誤消去防止

記録済みディスクに再記録すると、前に記録したデータは消えてしまいます。必要なデータを誤って消してしまうのを防ぐには、誤消去防止スイッチを図のようにスライドします。

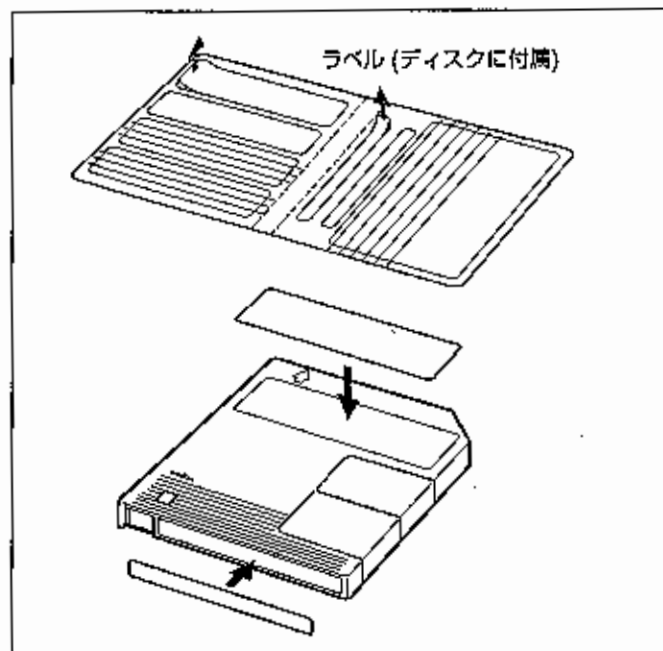


誤消去防止されたディスクを本機に入れると、記録動作は実行できません。

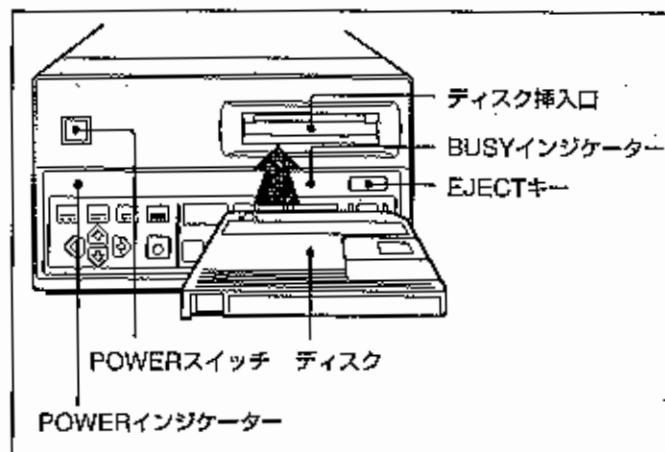
再記録するときは、誤消去防止スイッチを元の位置に戻します。

ラベルの使いかた

ディスクに付属のラベルをディスクに貼付して、ディスクの内容などをメモすることができます。記入欄がいっぱいになったときは、古いラベルをはがして、新しいラベルを貼ります。重ねて貼ったり、ディスクの外側にはみ出して貼ると、誤動作したり、ディスクドライブユニットが故障することがあります。



本機の起動とディスクの出し入れ



本機を起動する

POWERスイッチをONにします。

POWERインジケータが点灯し、本機が始動します。

数秒後SOURCEキーが点灯し、本機は操作可能な状態になります。このとき、メニューの設定によりピープ音を鳴らすことができます。

- ◆ ピープ音の設定は、System Setupメニューで実行します。操作については、41ページをご覧ください。

ディスクを入れた状態で、本機の電源を入/切することもできます。

ディスクを入れるには

ディスクを、矢印の付いた面を上にして持ち、矢印の向きに沿ってディスク挿入口に入れます。

ご注意

ミニディスクを挿入する向きは、フロッピーディスクやMOディスクと異なりますのでご注意ください。

本機を起動すると、BUSYインジケータが点灯し、本機はディスク内のデータをチェックします。

チェックが終了すると、BUSYインジケータが消灯します。このとき、メニューの設定によりピープ音を鳴らすことができます。

ディスクが初期化されていないが、本機に対応しない形式で初期化されているときは

本機のALL ERASE/INITキーが点滅し(スクリーンに「Initialize」のメッセージが現れます)、本機は初期化のスタンバイ状態になります。約5秒間放置すると、キーは消灯します。

◆ 詳しくは次頁「ディスクの初期化」をご覧ください。

ディスクを取り出すには

EJECTキーを押してディスクを排出します。

BUSYインジケーターが点灯または点滅しているときにEJECTキーを押すと、内部処理の終了後、ディスクが排出されます。

本機を輸送・移動する場合を除いて、ディスクを本機に入れたまま保管してもさしつかえありません。

ディスクの初期化

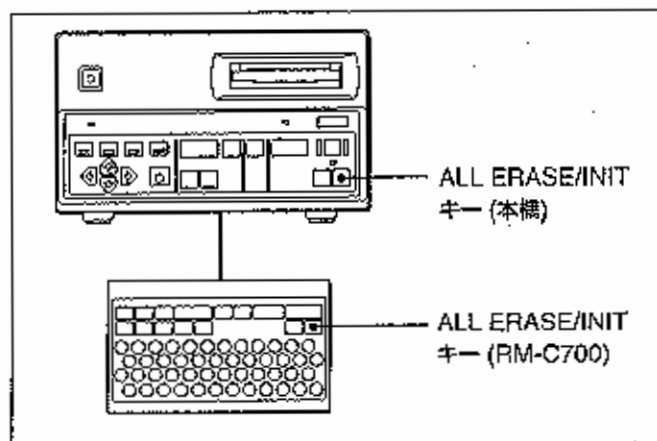
本機でディスクに画像を記録するときは、本機に対応する形式で、ディスクを初期化する必要があります。

ご注意

ディスクを初期化すると、ディスクに記録されているデータはすべて消失します。初期化操作に入る前に、必ずディスク内のデータを確認してください。

- 1 本機に初期化の必要なディスクを入れ、本機を起動する(18ページ参照)。

本機のALL ERASE/INITキーが点滅します(スクリーンに「Initialize」のメッセージが現れます)。



- 2 本機のALL ERASE/INITキーが点滅している間に、本機またはRM-C700のALL ERASE/INITキーを押す。約5秒間放置すると、キーは消灯します。本機またはRM-C700のALL ERASEキーを押すと、再び点滅を開始します。

本機のALL ERASE/INITキーが点灯し、ディスクの初期化が始まります。

約3分後に初期化が終了します(本機のALL ERASE/INITキーが消灯します)。

ご注意

初期化を実行している間、BUSYインジケーターが点滅または点灯します。このとき本機のAC電源コードをコンセントから絶対に抜かないでください。本機への電源供給が断たれると、ディスクが壊れることがあります。

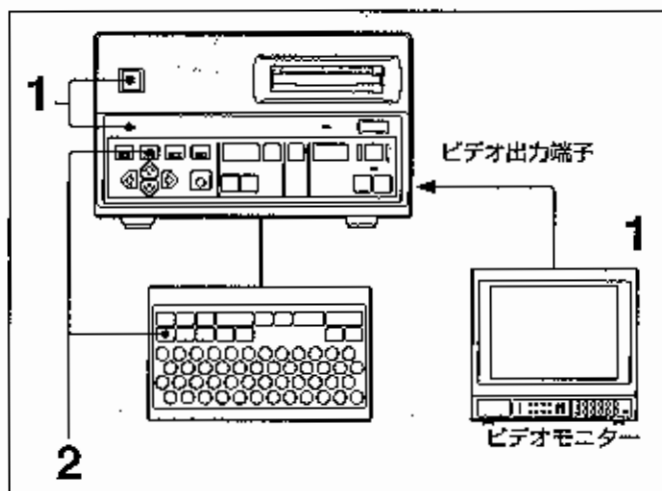
時計の設定

操作を始める前に、本機に内蔵された時計の時刻を合わせてください。

- ◆ 時計合わせは、メニューのSystem Setup画面で実行します。操作については41ページをご覧ください。

本機の状態を確認する

本機のセットアップ状態と動作状況を、スクリーンに表示することができます。



1 本機後面のビデオ出力端子に、ビデオモニターを正しく接続して (16 ページ参照)、本機を起動する (18 ページ参照)。

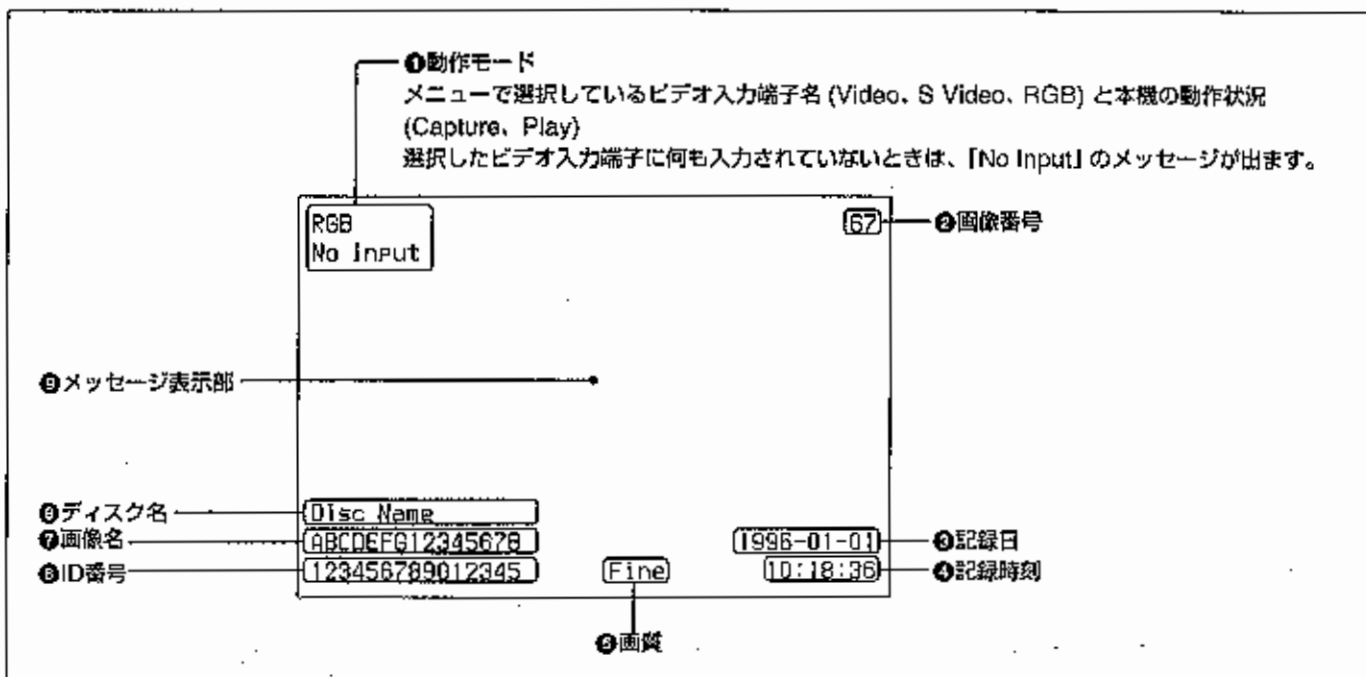
2 DISPキーを押す。

スクリーンに動作/セットアップ情報が現れます。

ご注意

Capture/Rec Setupメニューで、「Live」がThruに設定されている場合は、DISPキーを押しても動作/セットアップ情報は現れません。

◆ Capture/Rec Setupメニューについて詳しくは38ページをご覧ください。



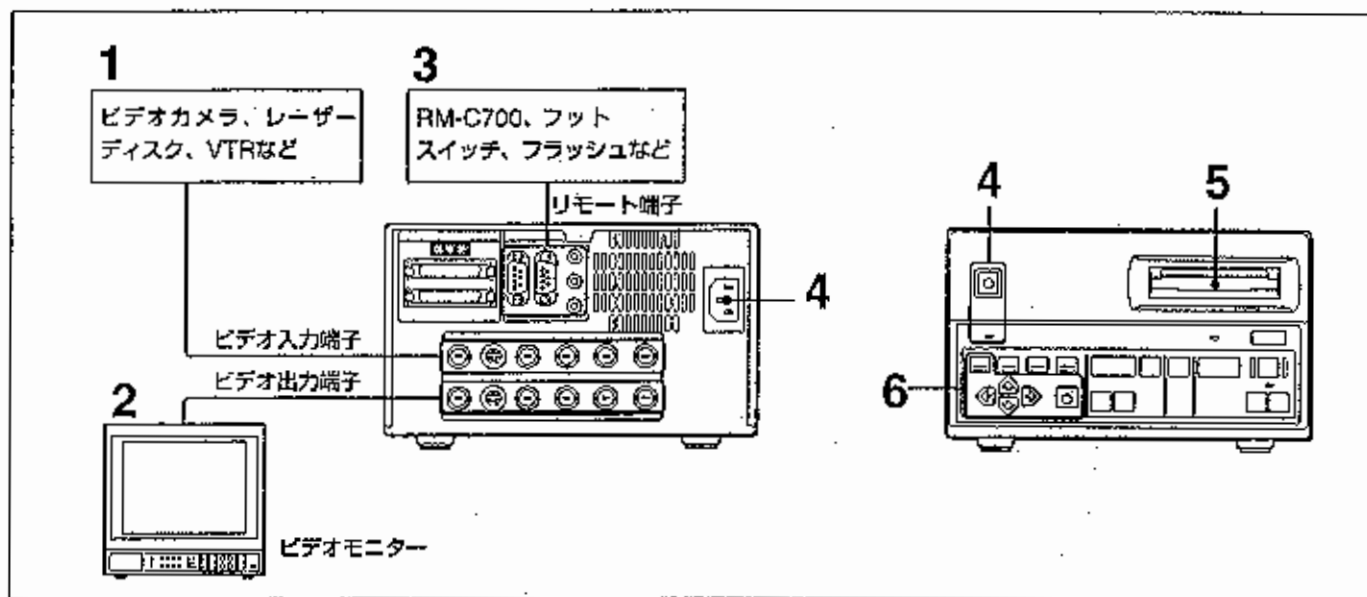
②～⑩の内容は、動作状況によって次のように変わります。
再生時：現在スクリーンに表示されている画像に関する情報。
再生時以外：次に記録される画像に関する情報。③は表示されません。①の位置には、ディスクにまだ記録できる画像の枚数が表示されます。

表示項目の構成を変えるには
Disp Setupメニューで、各項目の設定を変えます。

◆ メニューの設定操作については、40ページをご覧ください。

画像の記録

記録の準備



- 1 本機後面のビデオ入力端子に、ビデオカメラ、レーザーディスク、VTRなどのビデオ信号を、正しく接続する (16ページ参照)。
- 2 本機後面のビデオ出力端子に、ビデオモニターを正しく接続する (16ページ参照)。
- 3 本機後面のリモート端子に、RM-C700、フットスイッチ、フラッシュなどを、目的に合わせて接続する (16ページ参照)。
- 4 本機の電源を入れる (18ページ参照)。
- 5 初期化済みで、誤消去防止スイッチが記録可能な状態になっていることを確認したディスクを、ディスク挿入口に入れる (18ページ参照)。

- 6 メニュー画面で、以下の設定を実行する。

- 1) 入力するビデオ信号に応じて、メインメニューの「Input」を設定する (36ページ参照)。
- 2) 入力するビデオ信号に応じて、Source Setupメニューの各項目を設定する (37ページ参照)。
- 3) 使用する外部機器に応じて、System Setupメニュー (41ページ参照) と Capture/Rec Setupメニュー (38ページ参照) の必要な項目を設定する。

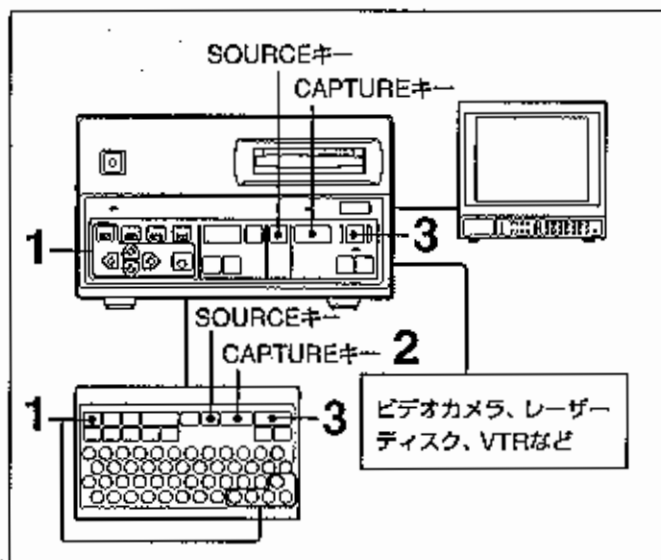
画像にID番号や名前を付けるときは

画像番号と日付は、画像を記録する際、自動的に記録されます。RM-C700から操作している場合は、さらにID番号や画像名を付けることができます。

◆ 手順については「画像データの管理 (RM-C700接続時)」(30ページ)をご覧ください。

画像を1枚ずつ記録する一ステップ記録

ここでは、本機またはRM-C700から操作する手順を説明します。



- 1 メニューの Capture/Rec Setup メニューで、以下の項目を設定する。

Quality: 任意の画質

Rec Mute: 記録時間を短縮したいときは On に設定する。

Flush: 複数の画像を短い間隔で連続して記録したい場合は 0 以外の時間を設定する。

Auto Rec: Off

Overwrite: ディスクがいっぱいになったときに、以前に記録した画像を上書きしてもいい場合は On に設定する。

ご注意

Flush 項目で 0 以外の時間を設定すると、画像の記録終了後、設定された時間が経過した後に画像情報の記録が始まります。この間、本機の AC 電源コードをコンセントから絶対に抜かないでください。

◆メニューの設定操作については、38 ページをご覧ください。

- 2 ビデオカメラ、レーザーディスク、VTR などから、本機にビデオ信号を送出する。
- 3 スクリーンに記録したい画像が表示されたとき、REC キーを押す。

スクリーンの画像がフリーズし、記録が始まります (本機の REC キーが点灯します)。

ご注意

本機に VTR からの信号を入力している場合は、記録中に VTR を変速動作 (早送り、巻き戻し、ジョグ/シャトル再生など) させないでください。フリーズ画が乱れることがあります。

ご注意

記録を実行している間、BUSY インジケータが点滅または点灯します。このとき本機の AC 電源コードをコンセントから絶対に抜かないでください。本機への電源供給が断られると、ディスクが壊れることがあります。

記録が終了すると、本機の REC キーが消灯します。

記録前に画像を確認するときは

- 1 手順 3 で REC キーの代わりに CAPTURE キーを押す。

スクリーンの画像がフリーズし、本機内部のメモリーに記憶されます。

目的の画像を取り込めなかったときは

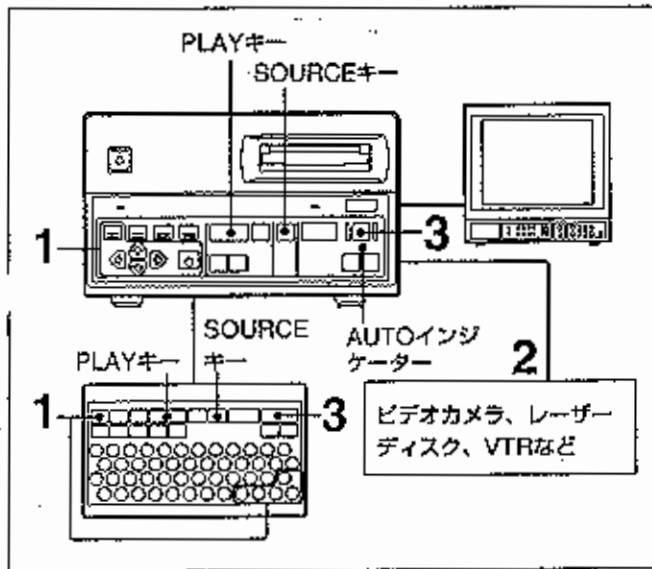
SOURCE キーを押してフリーズを解除し、手順 1 を実行します。

- 2 REC キーを押す。

メモリーに記憶された画像がディスクに記録されます (本機の REC キーが点灯します)。

画像を自動的に記録する—インターバル記録

ここでは、本機またはRM-C700から操作する手順を説明します。



- 1 メニューの Capture/Rec Setup 画面で以下の項目を設定する。

Quality : 任意の画質

Rec Mute : 記録時間を短縮したいときは On に設定する。

Flush : 複数の画像を短い間隔で連続して記録したい場合は 0 以外の時間を設定する。(22 ページの手順 1 のご注意を参照する。)

Auto Rec : Off

Overwrite : ディスクがいっぱいになったときに、以前に記録した画像を上書きしてもいい場合は On に設定する。

◆ メニューの設定操作については、38 ページをご覧ください。

- 2 ビデオカメラ、レーザーディスク、VTR などから本機にビデオ信号を送出する。

- 3 REC キーを押す。

スクリーンの画像がフリーズし、記録が始まります (AUTO インジケータが点灯し、本機の REC キーが点灯/消灯をくり返します)。

ご注意

本機に VTR からの信号を入力している場合は、記録中に VTR を変速動作 (早送り、巻き戻し、ジョグ/シャトル再生など) させないでください。フリーズ画が乱れることがあります。

記録を止めるには

SOURCE キーまたは PLAY キーを押します。

フットスイッチ FS-20 (別売り) を使って記録する

フットスイッチ FS-20 (別売り) では、次の 3 通りの動作モードが選択できます。

フットスイッチ FS-20 (別売り) では、次の 3 通りの動作モードが選択できます。

- Capture/Rec
- Capture
- Alternate

Capture/Rec モードで記録するには

- 1 「画像を 1 枚ずつ記録する—ステップ記録」(22 ページ) の手順 1、2 を実行する。
- 2 スクリーンに記録したい画像が表示されたとき、スイッチを押す。

目的の画像がフリーズし、本機はディスクへの記録を開始します。

Capture モードで記録するには

- 1 「画像を 1 枚ずつ記録する—ステップ記録」(22 ページ) の手順 1、2 を実行する。
- 2 スクリーンに記録したい画像が表示されたとき、スイッチを押す。

目的の画像が静止画になり、本機の内部メモリーに記憶されます。

目的の画像を取り込めなかったときは目的の画像が得られるまでくり返しスイッチを押します。

- 3 本機または RM-C700 の REC キーを押す。

メモリーに記憶された画像がディスクに記録されます。

Alternateモードで記録するには

1 「画像を1枚ずつ記録する—ステップ記録」(22ページ)の手順1、2を実行する。

2 スクリーンに記録したい画像が表示されたとき、スイッチを押す。

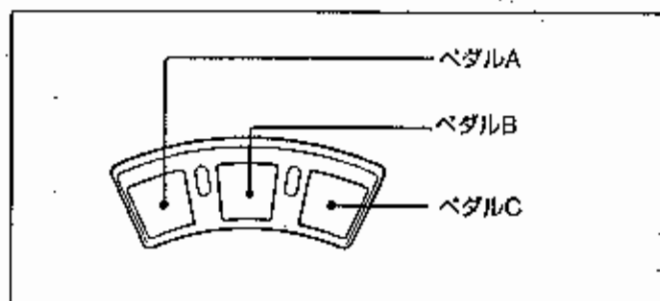
目的の画像がフリーズし、本機の内部メモリーに記憶されます。

3 再度スイッチを押す。

メモリーに記憶された画像がディスクに記録されます。

フットスイッチFS-30 (別売り) を使って記録する

フットスイッチFS-30 (別売り) では、A、B、Cの3通りの動作モードが選択できます。



		ペダル		
		A	B	C
モード	A	Play	Source	Capture/Rec
	B	Play	Rec	Capture
	C	Rec	Source	Capture

Play : 直前に記録した画像を再生します。

Source : 本機またはRM-C700のSourceキーと同じ動作をします。

Capture : 目的の画像を本機のメモリーに取り込みます。

Rec : Capture実行後に実行すると、本機のメモリーに取り込まれた画像をディスクに記録します。

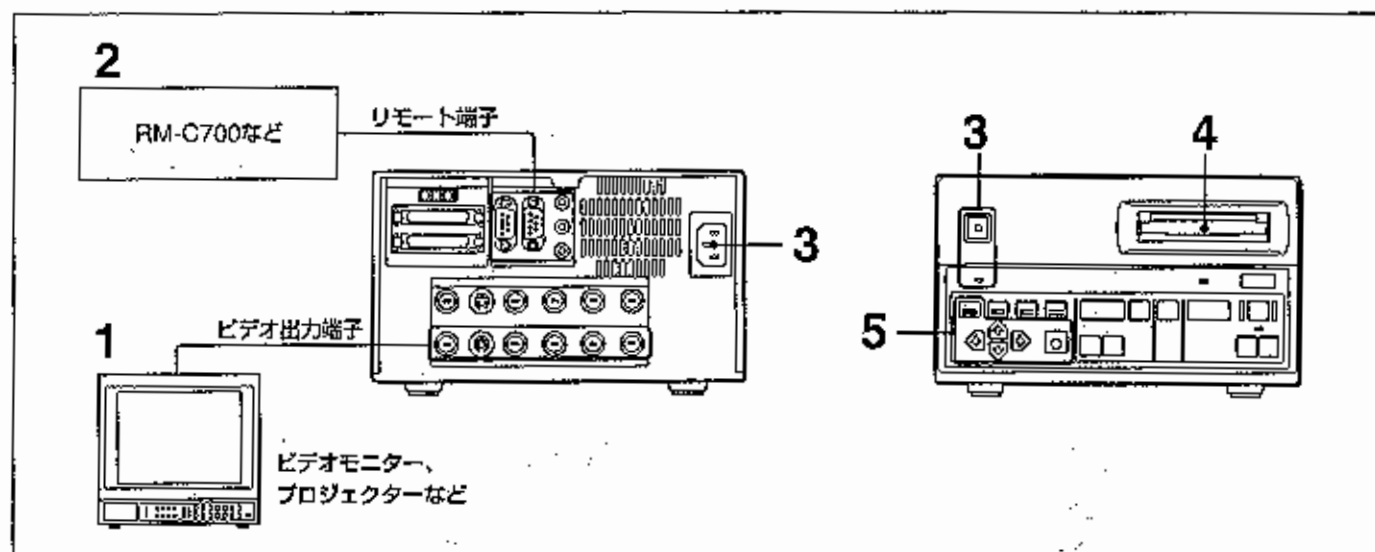
Capture実行後以外の実行すると、目的の画像を本機のメモリーに取り込み、ディスクに記録します。

Capture/Rec : 目的の画像を本機のメモリーに取り込み、ディスクに記録します。

◆ 記録操作については、「画像を1枚ずつ記録する—ステップ記録」(22ページ)の手順をご覧ください。

画像の再生と検索

再生/検索の準備



- 1 本機後面のビデオ出力端子に、ビデオモニターやプロジェクターなどを、正しく接続する (16 ページ参照)。
- 2 本機後面のリモート端子に、RM-C700などを目的に合わせて接続する (16 ページ参照)。
- 3 本機の電源を入れる (18 ページ参照)。
- 4 再生したい画像が記録されているディスクを、ディスク挿入口に入れる (18 ページ参照)。

- 5 1) 出力するビデオ信号に応じて、メインメニューの「Video」を設定する (36 ページ参照)。
2) 使用する外部機器に応じて、System Setupメニューの必要な項目を設定する (41 ページ参照)。

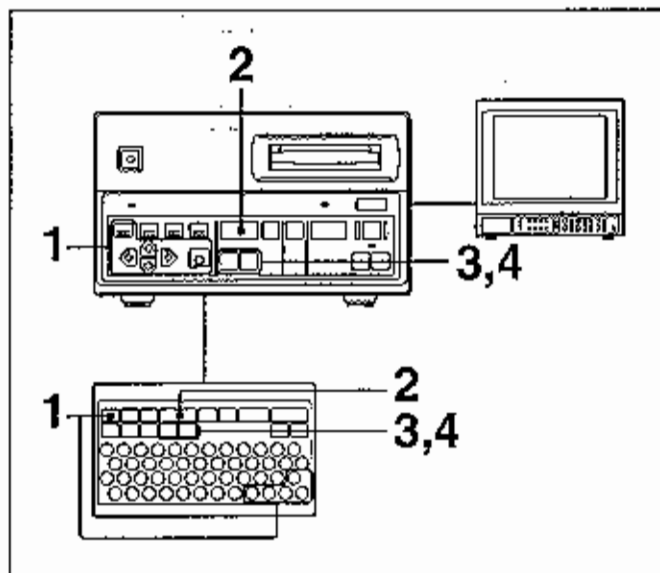
ご注意

本機にVTRからの信号を入力している場合は、再生中にVTRを変速動作 (早送り、巻き戻し、ジョグ/シャトル再生など) させないでください。再生画が乱れることがあります。

画像の再生と検索

画像を1枚ずつ再生する—ステップ再生

ここでは、本機またはRM-C700から操作する手順を説明します。



1 Play Setupメニューで以下の項目を設定する。

「Mode」の設定

画質を優先するときは (本画像を表示) : Mainを選択する。

画像をすばやく再生するときは (クイックアクセス画像を表示) : Quickを選択する。

Autoを選択すると、はじめにクイックアクセス画像が再生され、次に本画像が再生されます。

ご注意

圧縮しないで記録した (Capture & Rec Setupメニューで「Quality」をNon Compに設定) 画像を本画像として再生すると (手順1でMainまたはAutoを選択した場合)、画像が表示されるまでに少し時間がかかります。(その間画面には画像が出ません。)

「Play Mute」の設定

画像が表示されるまでの時間を短くしたいときは: Onに設定する。画像切り換え時は画面がミュートされる。

画像切り換え時に画面をミュートしたくないときは: Offに設定する。Onに設定したときより画像が表示されるまでの時間が長くなる。

◆ メニューの設定操作については、40ページをご覧ください。

2 PLAYキーを押す。

スクリーンに画像が現れます。

手順1でQuickを選択したときは、クイックアクセス画像が再生されますが、再生中にもう一度PLAYキーを押すと、本画像が再生されます。

3 左/右キーを押す。

右キーを押すと: 現在の画像より画像番号の大きい画像が現れます。

左キーを押すと: 現在の画像より画像番号の小さい画像が現れます。

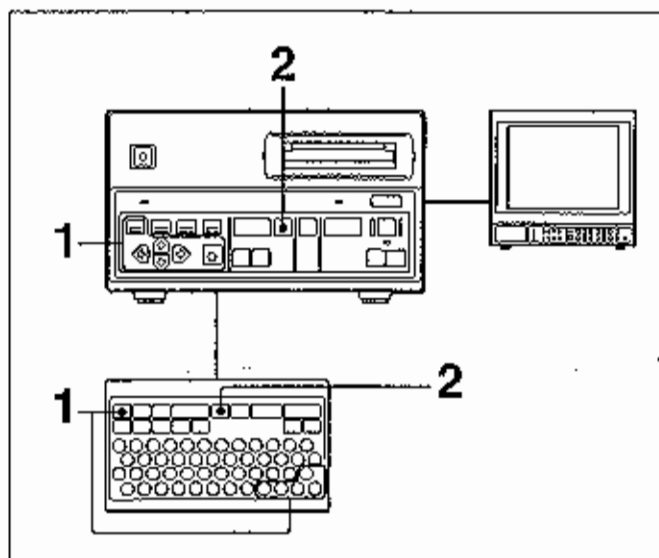
ご注意

ディスクに、本機以外の機器で記録された画像が保存されているときは、画像番号が連続しないことがあります。

4 手順3の操作をくり返して、画像を順次切り換える。

画像を自動的に再生する—インターバル再生

ここでは、本機またはRM-C700から操作する手順を説明します。



- Play Setupメニューで以下の項目を設定する。
 Mode：前項の手順1を参照して、適切な画質を選択する。
 Play Mute：前項の手順1を参照して、適切な設定を選択する。
 Auto Play
 Interval：任意の時間
 Direction：任意の方向

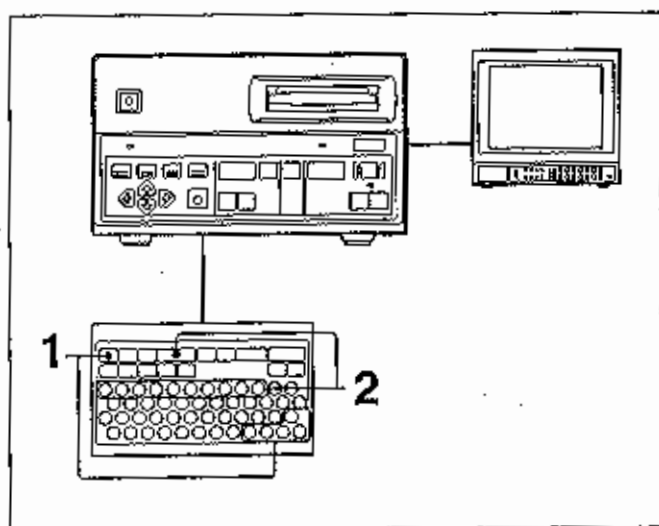
◆メニューの設定操作については、40ページをご覧ください。

2 AUTO PLAYキーを押す。

画像が、指定した間隔で、指定した順に再生されます。

画像番号を指定して目的の画像を再生する—ダイレクトアクセス再生 (RM-C700-MR C700接続時)

ダイレクトアクセス再生は、RM-C700から操作します。

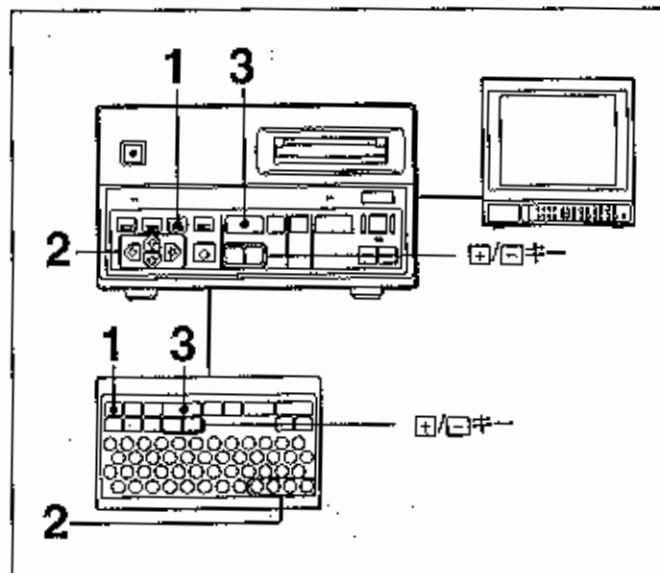


- 「画像を1枚ずつ再生するには一ステップ再生」(26ページ)の手順1を参照してPlay Setupメニューの「Mode」を設定する。
- 目的の画像の番号を入力して、PLAYキーを押す。

指定した番号の画像が再生されます。

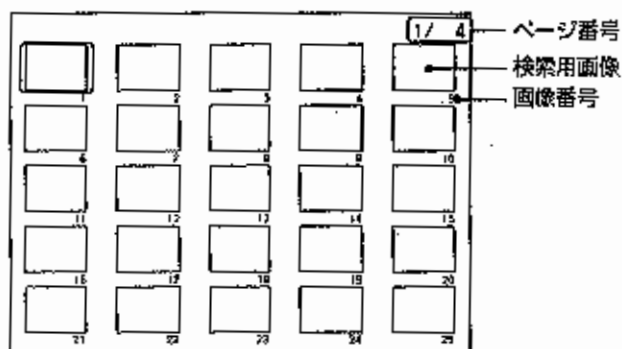
検索用画像を見ながら目的の画像を探す

ここでは、本機またはRM-C700から操作する手順を説明します。

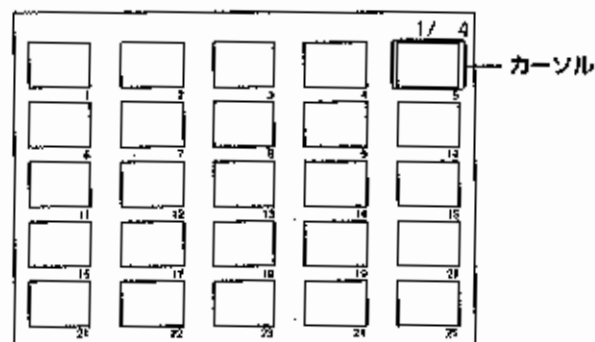


1 IMAGEキーを押す。

スクリーンに検索用画像が現れます。



- カーソルキーを使って、目的の画像の番号にカーソルを合わせる。



(続く)

画像の再生と検索

目的の画像がないときは

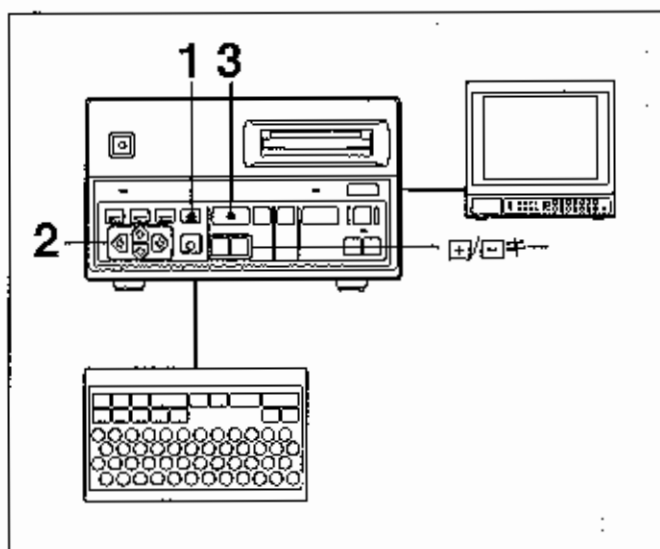
[+]/[-]キーを押して、ページを切り換えます。

3 PLAYキーを押す。

スクリーンに選択した画像が現れます。

検索情報リストから目的の画像を探す

本機から操作するには



1 LISTキーを押す。

スクリーンに画像番号と日付のリストが現れます。

[List]	1 / 4	ページ番号
▶ 1	96-01-01	
2	96-01-01	
3	96-01-01	
4	96-01-01	
5	96-01-01	

(↑) Select (PLAY) Play

2 [←]または[→]キーを使って、目的の画像の欄にカーソルを合わせる。

[List]	1 / 4
1	96-01-01
2	96-01-01
3	96-01-01
▶ 4	96-01-01
5	96-01-01

(↑) Select (PLAY) Play

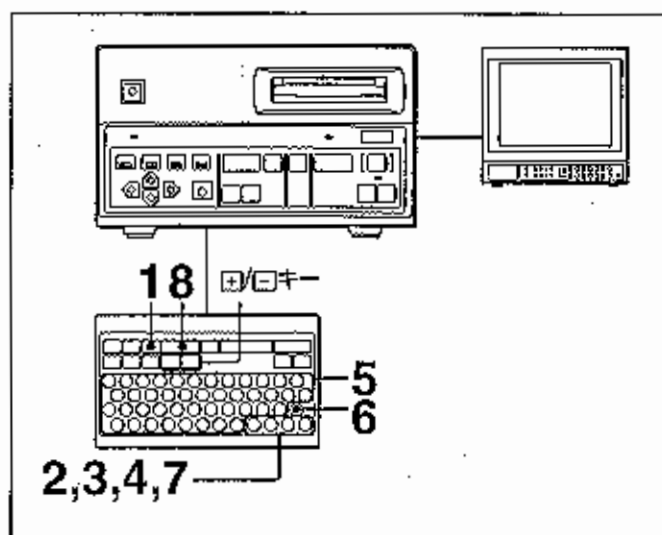
目的の画像の欄がないときは

[+]/[-]キーを押して、ページを切り換えます。

3 PLAYキーを押す。

スクリーンに選択した画像が現れます。

RM-C700から操作するには



1 LISTキーを押す。

スクリーンにList Search画面が現れます。

[List Search]	カーソル
Search: ID No	
Keyword:	

(↑) Select (←) Set (EXEC)Execute

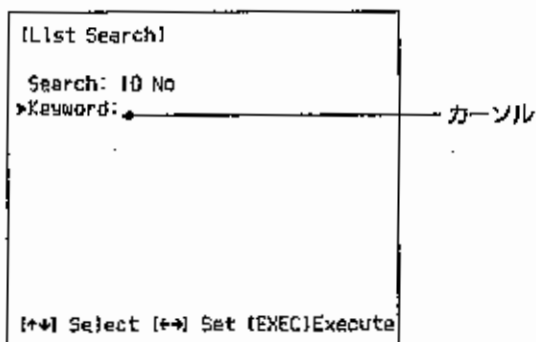
2 ④または⑤キーを使って、カーソル(▶)を「Search」に合わせる。

3 ⑥または⑦キーを使って、どの情報によって検索するかを設定する。

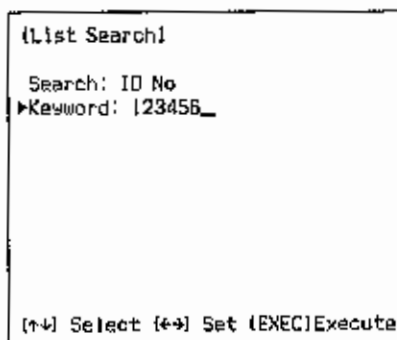
設定できる内容は以下の通りです。

Image No (画像番号)、Title (画像名)、Date (日付)、ID No (ID番号)

4 ⑧または⑨キーを使って、カーソル(▶)を「Keyword」に合わせ、⑩または⑪キーを押してカーソル()を表示する。



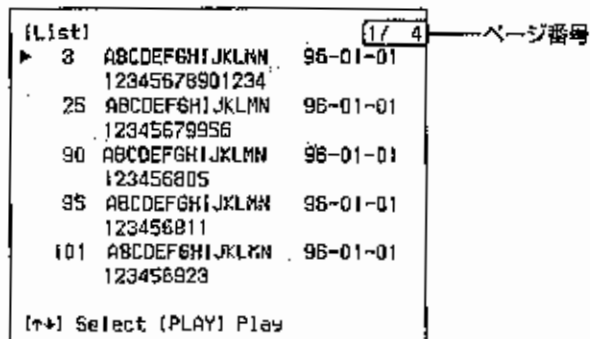
5 手順3での設定に応じて、目的の画像の番号、名称、日付またはID番号を入力する。



すべての文字または数字を入力しなくても、先頭の数字を入力するだけで検索は可能です。

6 EXEキーを押す。

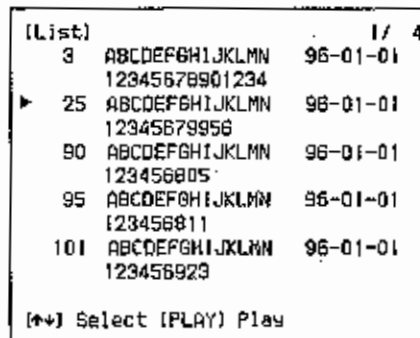
目的の画像の情報を含む検索情報リストが現れます。



目的の画像の情報がないときは

⑫/⑬キーを押して、ページを切り換えます。

7 ⑭または⑮キーを使って、目的の画像の欄にカーソルを合わせる。



8 PLAYキーを押す。

スクリーンに選択した画像が現れます。

画像データの管理 (RM-C700接続時)

画像データにID番号や名前を付けたり、ディスクに名前を付けるときは、リモートコントロールユニットRM-C700 (別売り) から操作します。

ID番号/画像名/ディスク名の入力に使用するキー

ID番号/画像名/ディスク名の入力には、下図のキーを使用します。

The diagram shows the Sony RM-C700 remote control keypad with various keys labeled and their functions explained in Japanese. The keypad includes a numeric keypad, an alphanumeric keypad, and several function keys.

ID NO (ID番号) キー: 押すとモニタースクリーンにID番号設定画面を表示します。

DISC (ディスク名)/NAME (画像名) キー: そのまま押すと、モニタースクリーンに画像名設定画面を表示します。SHIFTキーを押したまま押すと、モニタースクリーンにディスク名設定画面を表示します。

数学・記号キー: 数学や記号を入力します。SHIFTキーを押したまま押すと、上側の記号が入力されます。

SHIFT (シフト) キー:

- このキーを押したままDISC/NAMEキーを押すと、DISC/NAMEキーはDISCキーとして機能します。
- このキーを押したまま数字・記号キーを押すと、記号が入力されます。
- このキーを押したままアルファベットキーを押すと、大文字のアルファベットが入力されます。

SPC (スペース) キー: スペースを入力します。

アルファベットキー: アルファベット(小文字)を入力します。SHIFTキーを押したまま押すと、大文字が入力されます。

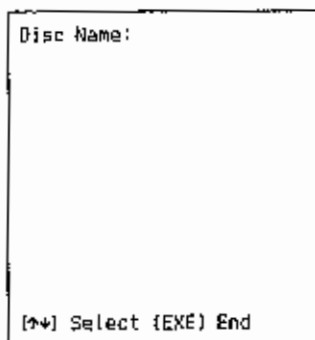
DEL (消去) キー: 入力した数字や文字を消去します。

ディスク名を設定/変更する

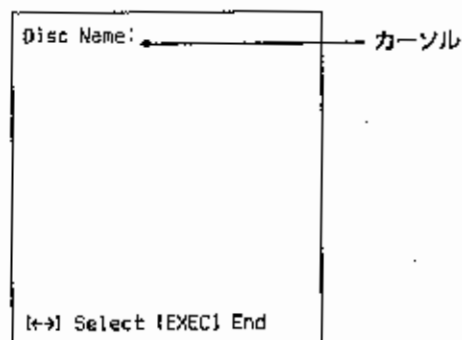
- 1) 本機後面のビデオ出力端子に、ビデオモニターを正しく接続する (16ページ参照)。
2) ディスク名を設定または変更したいディスクを、誤消去防止になっていないことを確認してから本機に挿入する (18ページ参照)。

- 2 SHIFTキーを押したまま、DISC/NAMEキーを押す。

スクリーンにディスク名設定画面が現れます。

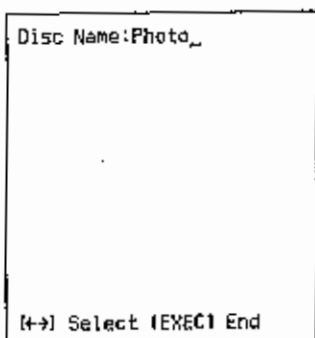


- 3 [←]または[→]キーを押してカーソルを表示し、文字を入力または変更したい位置までカーソルを移動する。



- 4 任意の文字を入力する (15文字まで入力可能)。

入力した文字が表示され、カーソルが1つ右に移動します。



- 5 入力された名前を確認して、変更がなければEXEキーを押す。

ご注意

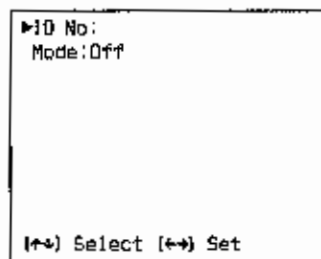
一度設定したディスク名は、消去できません。

ID番号を設定/変更する

ID番号を設定するには

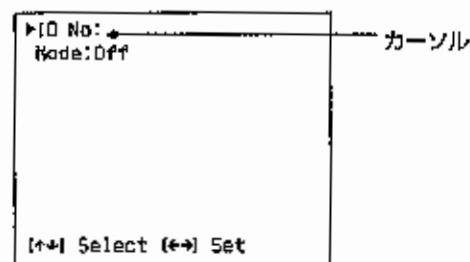
- 1 ID NOキーを押す。

ID番号設定画面が現れます。



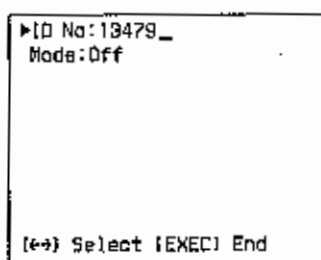
- 2 [←]または[→]キーでカーソルを「ID No」に合わせる。

- 3 [←]または[→]キーを押して、カーソル () を表示する。



- 4 任意の数字を入力する (15桁まで入力可能)。

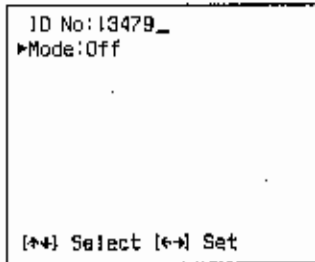
数字を1つ入力するたびに、カーソルが1つ右に移動します。



(続く)

画像データの管理 (RM-C700接続時)

- 5 ④または⑤キーでカーソルを「Mode」に合わせる。



- 6 ⑥または⑦キーで設定をHoldまたはIncに切り換える。
Hold: 次にID番号を設定するまで、画像番号が変わってもID番号は変わらない。
Inc: 画像番号が変わるたびにID番号の一番下の桁が1ずつ増える。

ID番号を記録しないときは
Offに設定します。

- 7 ID番号と「Mode」の設定を確認して、変更がなければEXEキーを押す。

ご注意

設定されたID番号は、電源が切れると消去されます。

一度記録したID番号を変更するには

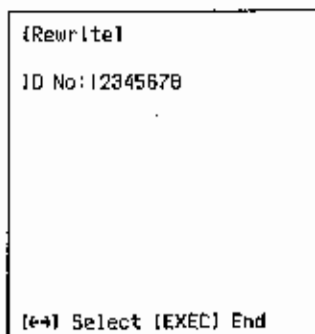
- 1 「画像の再生と検索」(25ページ)を参照して、ID番号を変更したい画像を再生する。

ご注意

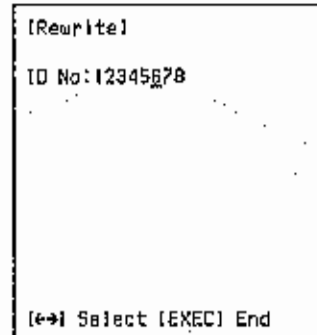
- ・ディスクの誤消去防止を解除してください。
- ・自動再生以外の方法で、画像を再生してください。自動再生中には、ID番号を変更できません。

- 2 ID NOキーを押す。

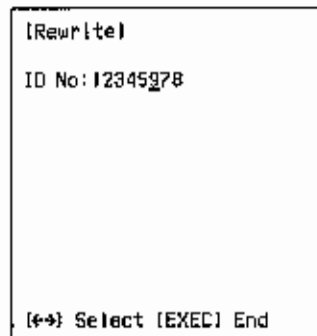
ID番号変更画面が現れます。



- 3 ⑧または⑨キーを押してカーソルを表示し、変更したい数字の下へ移動する。



- 4 数字を変更する。



- 5 EXEキーを押す。

ご注意

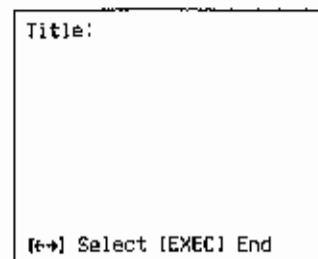
一度記録したID番号は、変更することはできますが、消去することはできません。

画像名を設定/変更する

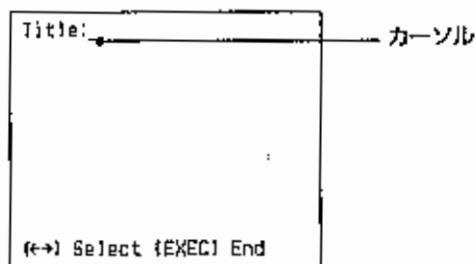
画像名を設定するには

- 1 DISC/NAMEキーを押す。

画像名設定画面が現れます。

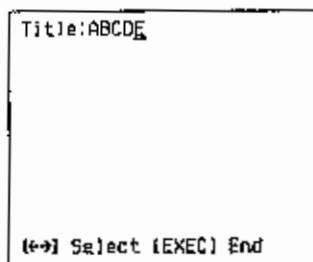


2 または キーを押して、カーソル () を表示する。



3 任意の文字を入力する (15文字まで入力可能)。

文字を1つ入力するたびに、カーソルが1つ右に移動します。



4 画像名を確認して、変更がなければEXEキーを押す。

ご注意

設定された画像名は、電源が切れると消去されます。

一度記録した画像名を変更するには

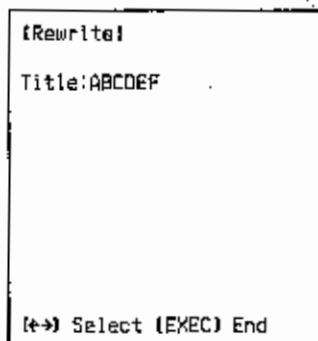
1 「画像の再生と検索」(25ページ)を参照して、画像名を変更したい画像を再生する。

ご注意

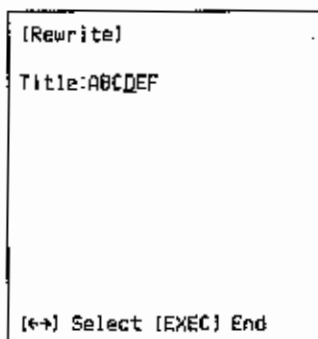
- ディスクの誤消去防止を解除してください。
- 自動再生以外の方法で、画像を再生してください。自動再生中には、画像名を変更できません。

2 DISC/NAMEキーを押す。

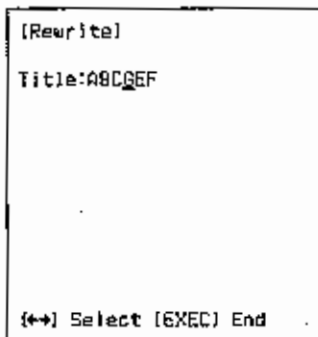
画像名変更画面が現れます。



3 または キーを押してカーソルを表示し、変更したい文字の下へ移動する。



4 文字を変更する。



5 EXEキーを押す。

ご注意

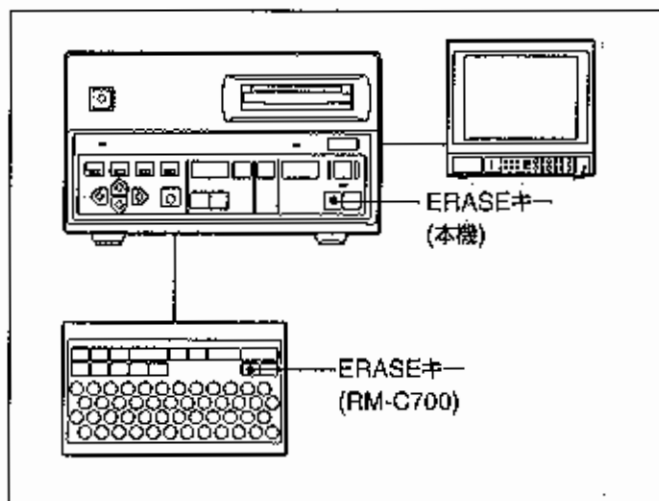
一度記録した画像名は、変更することはできますが、消去することはできません。

画像の消去

ここでは、本機またはRM-C700から操作する手順を説明します。

画像を1枚ずつ消去する

- 1 「画像の再生と検索」(25ページ)を参照して、消去する画像を再生する。
- 2 本機またはRM-C700のERASEキーを押す。



本機のERASEキーが点滅し、スクリーンに「Erase」のメッセージが現れます。

- 3 本機のERASEキーが点滅している間に、再度本機またはRM-C700のERASEキーを押す。
約5秒間放置すると、キーは消灯します。本機またはRM-C700のERASEキーを押すと、再び点滅を開始します。

本機のERASEキーが点灯し、再生していた画像がスクリーンから消えます。

消去した画像の画像番号は欠落番号になります。

ご注意

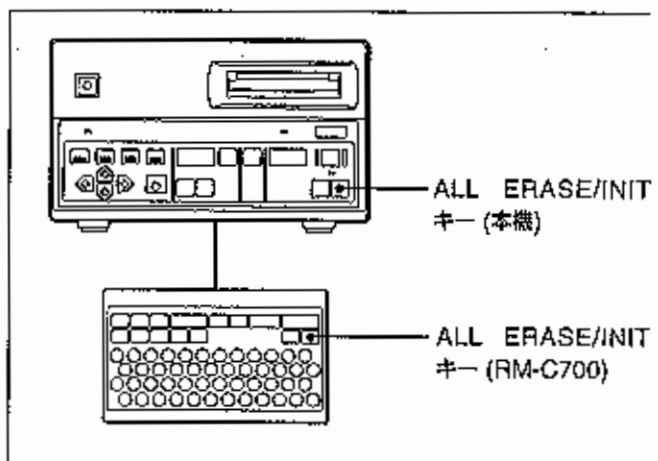
消去を実行している間、BUSYインジケータが点滅または点灯します。このとき本機のAC電源コードをコンセントから絶対に抜かないでください。本機への電源供給が断たれると、ディスクの内容が壊れることがあります。

ディスクに記録された画像をすべて消去する

ご注意

操作を実行する前に、必ずディスクに記録された画像を確認してください。一度消去した画像を復活させることはできません。

- 1 本機にディスクを入れる(18ページ参照)。
- 2 本機またはRM-C700のALL ERASE/INITキーを押す。



本機のALL ERASE/INITキーが点滅し、スクリーンに「All Erase」のメッセージが現れます。

- 3 本機のALL ERASE/INITキーが点滅している間に、再度本機またはRM-C700のALL ERASE/INITキーを押す。
約5秒間放置すると、キーは消灯します。本機またはRM-C700のALL ERASE/INITキーを押すと、再び点滅を開始します。

本機のALL ERASE/INITキーが点灯し、画像の消去が始まります。

ご注意

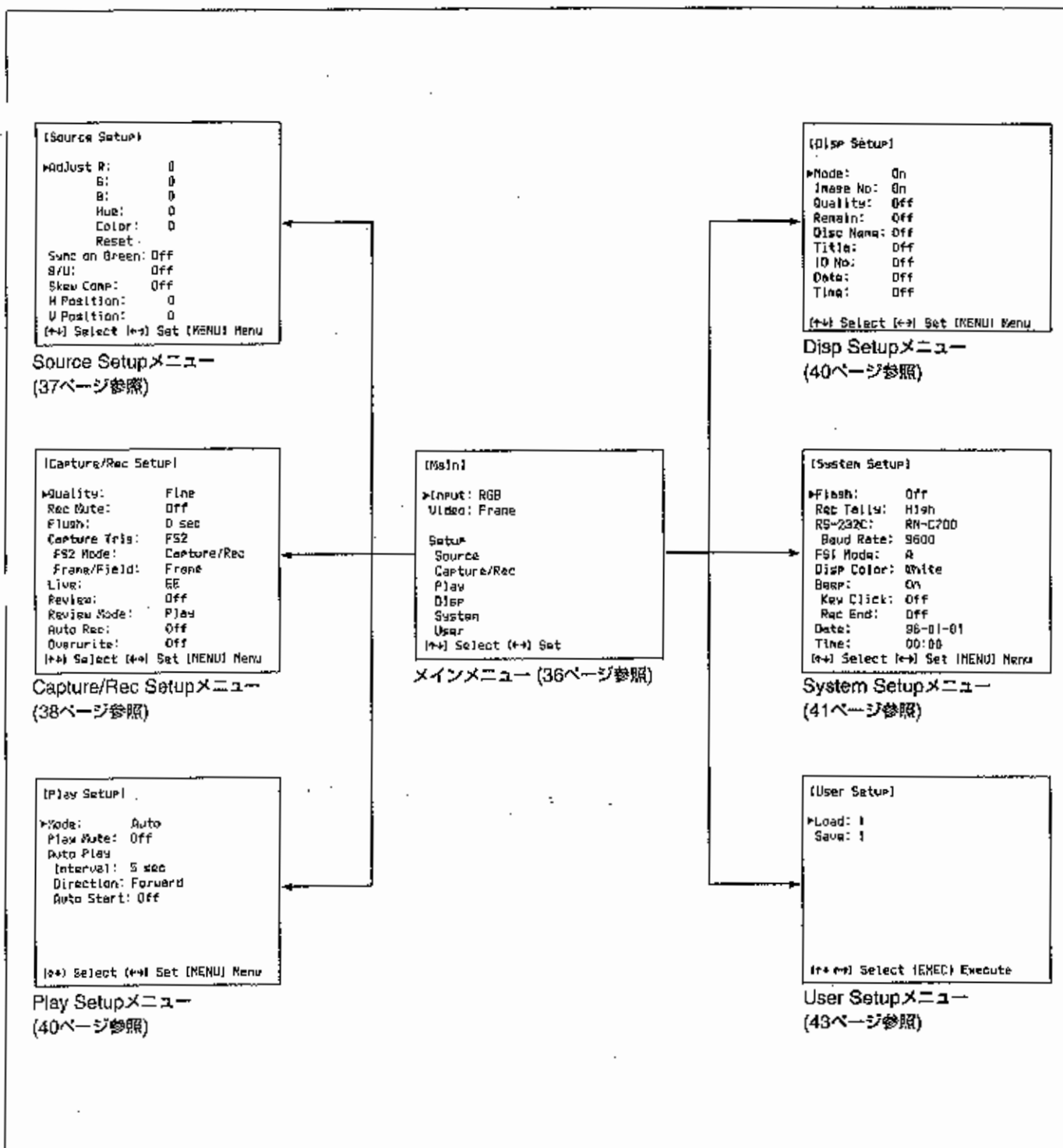
消去を実行している間、BUSYインジケータが点滅または点灯します。このとき本機のAC電源コードをコンセントから絶対に抜かないでください。本機への電源供給が断たれると、ディスクの内容が壊れることがあります。

メニュー操作

本機の動作や使用環境に関するセットアップは、メニューで実行します。

メニューの構成

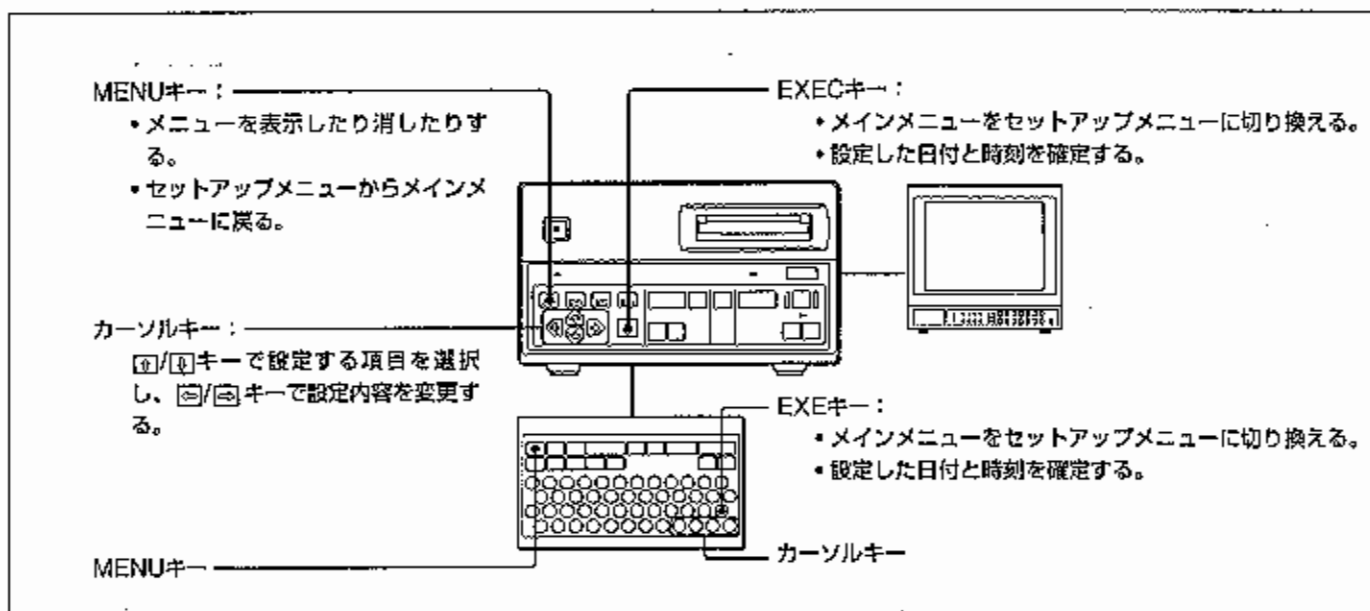
メニューは、下図に示すように、メインメニューと6つのセットアップメニューで構成されています。



メニュー操作

メニュー操作に使用するキー

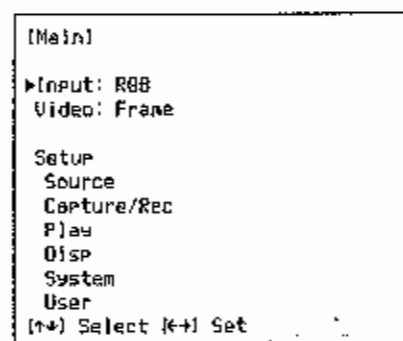
メニュー操作には下図のキーを使用します。



メインメニューの構成と使いかた

MENUキーを押す。

メインメニューが現れます。



各項目の内容は以下のとおりです。

Input: 入力するビデオ信号の種類を選択します。

Video: 出力するビデオ信号の表示モードを選択します。

Setup: 実行するセットアップを選択して、対応するセットアップメニューを呼び出します。

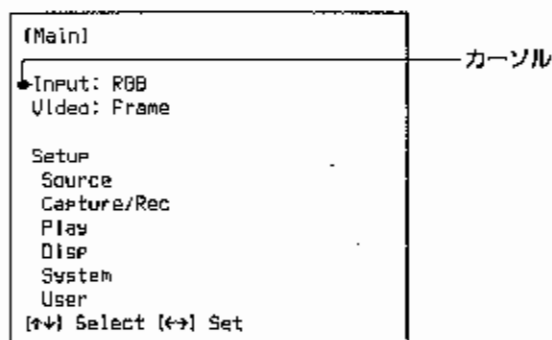
メニューを消すには
再度MENUキーを押します。

入力するビデオ信号の種類を選択するには

ご注意

記録/再生中およびフリーズ画を表示しているとき(本機のCAPTUREキーが点灯)は、入力ビデオ信号を選択できません。

1 ◀または▶キーを押して、カーソルを「Input」の位置に合わせる。



2 ◀または▶キーを押して、希望する設定に切り換える。

RGB: RGB信号

S Video: Sビデオ信号

Video: コンポジットビデオ信号

出力するビデオ信号の表示モードを選択するには

注意

以下の設定は、フリーズ画および再生画の出力時のみ有効です。

- 1 [F]または[F]キーを押して、カーソルを「Video」に合わせる。

```
[Main]
Input: RGB
▶Video: Frame

Setup
Source
Capture/Rec
Play
Disp
System
User
[←→] Select [←→] Set
```

- 2 [M]または[M]キーを押して、希望する設定に切り換える。

Frame: フレーム画を表示。

Field1/Field2: フィールド画を表示。Field1とField2でフィールド画を切り換える。

セットアップメニューを呼び出すには

- 1 [F]または[F]キーを押して、カーソルを希望する項目に合わせる。

```
[Main]
Input: RGB
Video: Frame

Setup
▶Source
Capture/Rec
Play
Disp
System
User
[←→] Select [EXEC] Next Menu
```

各セットアップ項目の内容は以下のとおりです。

Source: 入力信号に関するセットアップ

Capture/Rec: フレームメモリーまたはディスクへの記録操作に関するセットアップ

Play: 再生操作に関するセットアップ

Disp: 動作表示に関するセットアップ

System: 本機を含むシステムに関するセットアップ

User: ユーザー設定データのセットアップ(登録/呼び出し)

- 2 [M]または[M]キーを押して、カーソルを希望する項目に合わせる。

- 3 EXECキー(RM-C700の場合はEXEキー)を押す。

選択したセットアップメニューが現れます。

Source Setupメニューの構成と使いかた

Source Setupメニューを呼び出すには

- 1 [F]または[F]キーを押して、カーソルを「Source」に合わせる。

```
[Main]
Input: RGB
Video: Frame

Setup
▶Source
Capture/Rec
Play
Disp
System
User
[←→] Select [EXEC] Next Menu
```

- 2 EXECキー(RM-C700の場合はEXEキー)を押す。

Source Setupメニューが現れます。

```
[Source Setup]
▶Adjust R: 0
G: 0
B: 0
Hue: 0
Color: 0
Reset
Sync on Green: Off
B/W: Off
Skew Comp: Off
H Position: 0
U Position: 0
[←→] Select [←→] Set [MENU] Menu
```

メインメニューに戻るにはMENUキーを押します。

設定内容を変更するには

- 1 国または国キーを押して、カーソルを希望の項目に合わせる。
- 2 国または国キーを押して、希望する設定または設定値に切り換える。

各設定の内容は以下のとおりです。

Adjust R/G/B: 入力信号のR、G、B信号の各レベルを調整する (+127~-127)。

Adjust Hue: 入力信号 (RGB信号を除く) の色合い (hue) を調整する (+127~-127)。

Adjust Color: 入力信号 (RGB信号を除く) の色レベル (color) を調整する (+127~-127)。

Reset: R/G/B/Hue/Colorの設定値を変更前の設定値に戻す。

設定値を元に戻すには

国または国キーを押して、カーソルを「Reset」に合わせ、EXECキー (RM-C700の場合はEXEキー) を押します。

Sync on Green: G信号にシンク信号が付加されているRGB信号を入力するときOnに設定する。

ご注意

Capture/Rec SetupメニューのCapture Trigを、Camera1またはCamera2に設定している場合、この設定は自動的にOnになります。

B/W: 白黒信号を入力するときOnに設定する。

ご注意

この設定をOnにしたときは、System Setupメニューの「Disp Color」をWhiteに設定してください (41ページ参照)。

Skew Comp: 入力信号がジッターを含んでいるときOnに設定する。

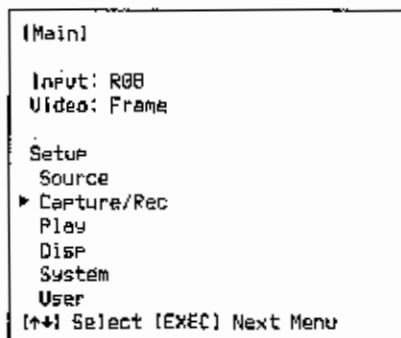
H Position: 本機がソースモードのときの、スクリーンの水平方向の表示範囲を設定する。(-10~+10ポイント)

V Position: 本機がソースモードのときの、スクリーンの垂直方向の表示範囲を設定する。(-2~+10ポイント)

Capture/Rec Setupメニューの構成と使いかた

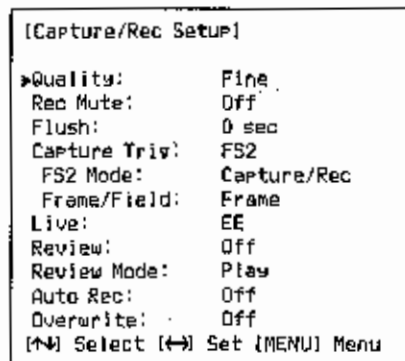
Capture/Rec Setupメニューを呼び出すには

- 1 国または国キーを押して、カーソルを「Capture/Rec」に合わせる。



- 2 EXECキー (RM-C700の場合はEXEキー) を押す。

Capture/Rec Setupメニューが現れます。



メインメニューに戻るには

MENUキーを押します。

設定内容を変更するには

- 1 国または国キーを押して、カーソルを希望の項目に合わせる。
- 2 国または国キーを押して、希望する設定または設定値に切り換えます。

各設定の内容は以下のとおりです。

Quality: 画像を記録するときの画質を選択する。

Non Comp: 圧縮しない。

Fine: 高画質

Normal: 標準画質

Quick 2: 標準画質の高速記録用(クイックアクセス画像と検索用画像だけを記録する。)

Quick 1: 高速記録用(クイックアクセス画像と検索用画像だけを記録する。)

Rec Mute: 記録時間を短縮したいとき On に設定する。On に設定すると、記録中モニター画面がミュートされる。Off に設定すると記録中にモニター画面はミュートされない。

Flush: 画像を記録するとき、画像データの記録後どれだけの時間が経過してから画像情報の記録を開始するかを設定する。設定値は0、13秒、23秒、33秒、1分、3分、5分、10分、∞(無限大)。

0以外の時間を選択した場合でも、以下のキーを押して、画像情報の記録を開始させることができる。

- EXEC キーまたは EXE キー
- PLAY キー (画像情報の記録後、再生が始まる。)
- EJECT キー (画像情報の記録後、ディスクがイジェクトされる。)
- IMAGE キー (画像情報の記録後、画像検索画面が表示される。)

Capture Trig: 画像の取り込みをコントロールする方法を選択する。

FS2: 別売りのフットスイッチ FS-20 を使う (FS2 端子に接続)。この場合、次項「FS2 Mode」で動作モードを設定する。

Camera1: ビデオカメラ DXC-930 シリーズ/950 シリーズを使って (RGB/SYNC 端子に接続)、長時間露光モードで記録する (Source Setup メニューの「Sync on Green」の設定が、自動的に On になります)。

ご注意

Camera1 を選択するとき、カメラを長時間露光モードに設定してください。通常の動作モードでは、カメラから本機をコントロールできません。通常の動作モードで使用したときは、カメラの電源を一度切って動作モードを設定し直してください。

Camera2: ビデオカメラ DXC-950 シリーズを使って (RGB/SYNC 端子に接続)、フラッシュ同期機能により記録する (Source Setup メニューの「Sync on Green」の設定が、自動的に On になります)。

ご注意

Camera2 を選択するとき、カメラをフラッシュモードに設定してください。

Ext1/Ext2: その他の外部機器を接続してコントロールする。

FS2 Mode: 別売りのフットスイッチ FS-20 を使う場合の動作モードを選択する。

Capture/Rec: 画像をメモリーに取り込むと同時に、ディスクへの記録を開始する。

Capture: 画像をメモリーに取り込む。

Alternate: 1回目の操作で画像をメモリーに取り込み、2回目の操作でディスクに記録する。

Frame/Field: 画像をフレーム単位でメモリーに取り込み、ディスクに記録する場合は「Frame」に設定する。画像をフィールド単位でメモリーに取り込み、ディスクに記録する場合は「Field」に設定する。フィールド読み出しカメラで同期フラッシュを使用する場合は「Field」に設定する。

Live: 本機に入力されたビデオ信号を、EE¹⁾ 信号として出力するかまたはそのまま出力する (スルー信号として) かを選択する。

ここで EE/Thru または Thru を選択すると、次項は「Review」から「Timer」に変わります。

ご注意

メニューが表示されている場合は、EE/Thru または Thru を選択しても、EE 信号が出力されます。メニューを消してから設定を行ってください。

EE: 常に EE 信号を出力する。

EE/Thru: 通常は EE 信号を出力し、記録時のみスルー信号に切り換える。

Thru: 本機内部のメモリー画像が出力されている場合 (CAPTURE キーを押したときなど) を除いて、スルー信号を出力する。

1) EE 信号: 記録回路に入力され、電気回路を通して出力される信号。

Review/Timer: 前項「Live」をEEに設定すると「Review」に、EE/ThruまたはThruに設定すると「Timer」になります。

Reviewのときは: 記録直後にレビューする場合に、レビュー時間を設定する。1秒、3秒、5秒、7秒、10秒または連続 (Cont) を選択する。レビューしない場合はOffに設定する。

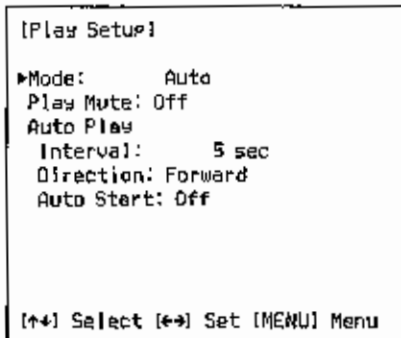
Timerのときは: 本機のメモリーに画像を記憶した直後、そのメモリー画像を表示するかどうかを選択する。Onにすると、記憶したメモリー画を数秒間表示し入力画に切り換える。Offにすると、すぐに入力画を表示する。

Rec MuteをOnに設定すると、Timerは自動的にOffになります。

Review Mode: レビューする画像を選択する。Captureに設定するとメモリーに取り込まれた記録画像、Playに設定するとディスクに記録された画像をレビューする。

Auto Rec: 一定時間自動的に画像を記録するとき、何秒ごとに画像を記録するかを設定する。5秒～60分の範囲で選択する。自動記録しないときはOffに設定する。

Overwrite: ディスクに記録されている画像を上書きしてもいい場合は、Onに設定する。



メインメニューに戻るには MENU キーを押します。

設定内容を変更するには

- 1 または キーを押して、カーソルを希望の項目に合わせる。
- 2 または キーを押して、希望する設定または設定値に切り換えます。

各設定の内容は以下のとおりです。

Mode: 画像の再生モードを選択する。

Auto: クイックアクセス画像を再生した後、本画像を再生する。

Main: 本画像を再生する。

Quick: クイックアクセス画像を再生する。

Play Mute: 再生画像が表示されるまでの間、画面をミュートするかどうかを選択する。

On: 画面をミュートする。再生画像が表示されるまでの時間が短くなる。

Off: 画面をミュートしない。

Auto Play

Interval: 自動再生時に、何秒おきに次の画像に切り換えるかを設定する。3秒、5秒、7秒、10秒、15秒、20秒、30秒、40秒、50秒、1分、2分、3分、5分、7分、10分の中から選択する。

Direction: 自動再生時に、画像をどのような順番で再生するかを設定する。

Forward: 画像番号の小さい順に再生する。

Reverse: 画像番号の大きい順に再生する。

Auto Start: 本機の起動時に自動再生を実行するかどうかを選択する。

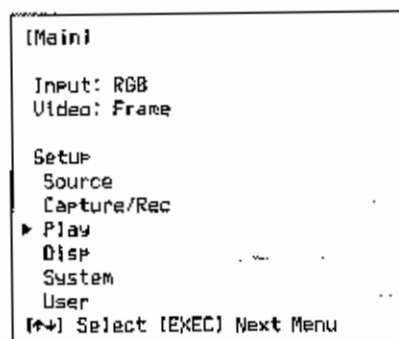
On: 再生したいディスクを入れた状態で本機を起動すると、前項「Auto Play」の設定に従って自動再生が始まる。

Off: 自動再生しない。

Play Setupメニューの構成と使いかた

Play Setupメニューを呼び出すには

- 1 または キーを押して、カーソルを「Play」に合わせる。



- 2 EXEC キー (RM-C700の場合はEXE キー) を押す。

Play Setupメニューが現れます。

Disp Setupメニューの構成と使いかた

Disp Setupメニューを呼び出すには

- 1 ④または⑤キーを押して、カーソルを「Disp」に合わせる。

```
[Main]
Input: RGB
Video: Frame

Setup
Source
Capture/Rec
Play
▶ Disp
System
User
(←→) Select (EXEC) Next Menu
```

- 2 EXECキー (RM-C700の場合はEXEキー)を押す。

Disp Setupメニューが現れます。

```
[Disp Setup]
Mode: On
Image No: On
Quality: Off
Remain: Off
Disc Name: Off
Title: Off
ID No: Off
Date: Off
Time: Off

(←→) Select (←→) Set (MENU) Menu
```

メインメニューに戻るには
MENUキーを押します。

設定内容を変更するには

- 1 ④または⑤キーを押して、カーソルを希望の項目に合わせる。
- 2 ④または⑤キーを押して、キーを押して、希望する設定または設定値に切り換えます。

各設定の内容は以下のとおりです。

Mode: 入力信号の種類と本機の動作状態を表示するときは
Onに、表示しないときはOffに設定する。

Image No: 次に記録される画像または現在再生している画像の番号を表示するときはOnに、表示しないときはOffに設定する。

Quality: 記録時または再生時の画質を表示するときはOnに、表示しないときはOffに設定する。

Remain: ディスクに記録可能な画像の枚数を表示するときはOnに、表示しないときはOffに設定する。

Disc Name: 現在挿入されているディスク名を表示するときはOnに、表示しないときはOffに設定する。

Title: 次に記録される画像または現在再生している画像の名称を表示するときはOnに、表示しないときはOffに設定する。

ID No: 次に記録される画像または現在再生している画像のID番号を表示するときはOnに、表示しないときはOffに設定する。

Date: 現在再生している画像の記録日(年/月/日)を表示するときはOnに、表示しないときはOffに設定する。

Time: 現在再生している画像の記録時刻(時/分/秒)を表示するときはOnに、表示しないときはOffに設定する。

System Setupメニューの構成と使いかた

System Setupメニューを呼び出すには

- 1 ④または⑤キーを押して、カーソルを「System」に合わせる。

```
[Main]
Input: RGB
Video: Frame

Setup
Source
Capture/Rec
Play
Disp
▶ System
User
(←→) Select (EXEC) Next Menu
```

(続く)

メニュー操作





2 EXECキー (RM-C700の場合はEXEキー) を押す。

System Setupメニューが現れます。

```
[System Setup]
▶Flash:      Off
Rec Tally:   High
RS-232C:    RM-C700
Baud Rate:   9600
FS1 Mode:    A
Disp Color:  White
Beep:        On
Key Click:   Off
Rec End:     Off
Date:        96-01-01
Time:        00:00
(←→) Select (←→) Set [MENU] Menu
```

メインメニューに戻るには
MENUキーを押します。

設定内容を変更するには

- 1  または  キーを押して、カーソルを希望の項目に合わせる。
- 2  または  キーを押して、希望する設定または設定値に切り換えます。

各設定の内容は以下のとおりです。

Flash: FLASH端子からトリガー信号を出力するときOnに設定する。

Rec Tally: FS2端子から出力されるRec Tally信号の極性を選択する。HighまたはLowが選択できる。

RS-232C: RS-232C端子に接続する機器を選択する (本機の前面パネルでのみ設定可能)。

RM-C700: リモートコントロールユニットRM-C700を接続。

Ext CPU: コンピューターを接続。この場合、次項「Baud Rate」を設定する。

Baud Rate: 本機をコンピューターからコントロールする場合には、コンピューターに合わせてボーレートを設定する。1200、2400、4800、9600から選択する。

FS1 Mode: 別売りのフットスイッチFS30を使うときの動作モードを選択する。(24ページ参照)

Disp Color: 画面表示の文字の色をWhite (白)、Red (赤)、Green (緑)、Yellow (黄)、Blue (青)、Magenta (紫)、Cyan (水色) から選択する。

Beep: エラーや動作完了時にビープ音を鳴らすときはOnに設定する。Onに設定したときは、次項「Key Click」および「Rec End」を設定する。





Key Click: 本機またはRM-C700の各操作キーを押したときに、クリック音を出したい場合はOnに設定する。

Rec End: 記録終了時にビープ音を鳴らしたいときOnに設定する。

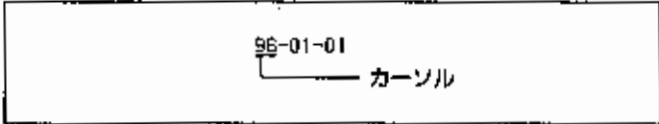
Date: 本機に内蔵された時計の日付を設定する。



Time: 本機に内蔵された時計の時刻を設定する。

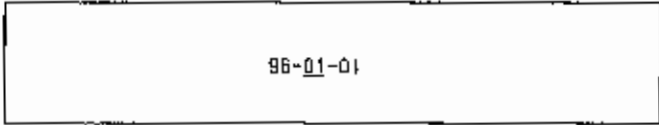
日付を設定するには



- 1  または  キーを押して、カーソル (▶) を「Date」に合わせ、 または  キーを押す。

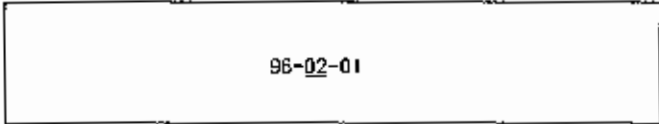
日付表示の下にカーソル () が表示されます。



- 2  または  キーを押して変更したい箇所にカーソル () を移動する。



- 3  または  キーを押して数値を変更する。



- 4 他に変更する箇所があれば、手順2、3を実行する。変更が終了すれば手順5に進む。

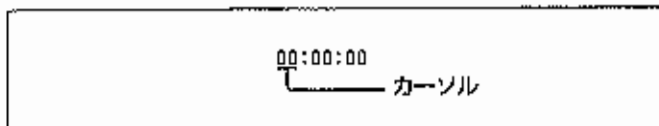
- 5 EXECキー (RM-C700の場合はEXEキー) を押す。

カーソル () が消えます。

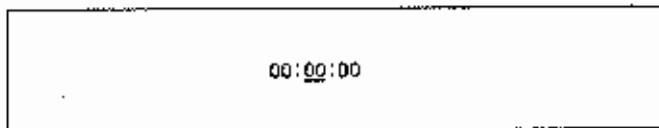
時刻を設定するには

- 1 [F]または[F]キーを押して、カーソル (▶) を「Time」に合わせて、[D]または[D]キーを押す。

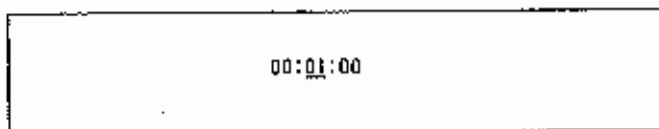
時刻表示の下にカーソル () が表示され「秒」の表示が現れます。



- 2 [D]または[D]キーを押して変更したい箇所にカーソル () を移動する。



- 3 [D]または[D]キーを押して数値を変更する。



- 4 他に変更する箇所があれば、手順2、3を実行する。変更が終了すれば手順5に進む。

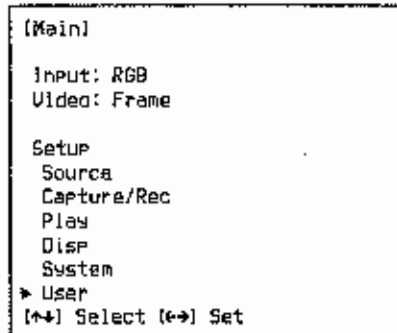
- 5 EXECキー (RM-C700の場合はEXEキー) を押す。

カーソル () と「秒」の表示が消えます。

User Setupメニューの構成と使いかた

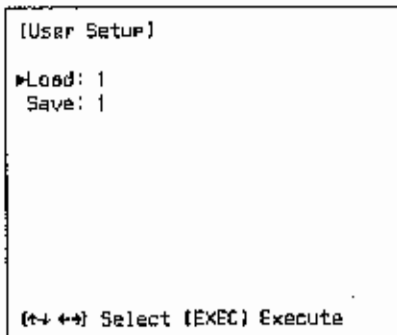
User Setupメニューを呼び出すには

- 1 [F]または[F]キーを押して、カーソルを「User」に合わせる。



- 2 EXECキー (RM-C700の場合はEXEキー) を押す。

User Setupメニューが現れます。



メインメニューに戻るには
MENUキーを押します。

メニュー操作



User Setupメニューの使いかた

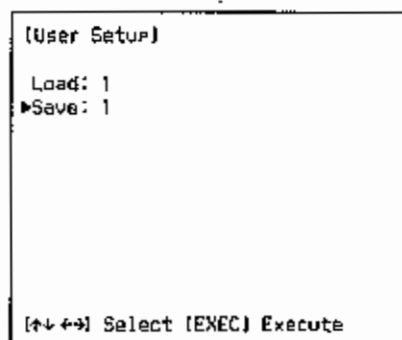
User Setupメニューは、各メニューで設定した内容をユーザーデータとして登録し、必要に応じて呼び出すためのメニューです。



ユーザーデータを登録するには



ユーザーデータは3つまで作成でき、番号を付けて認識します。

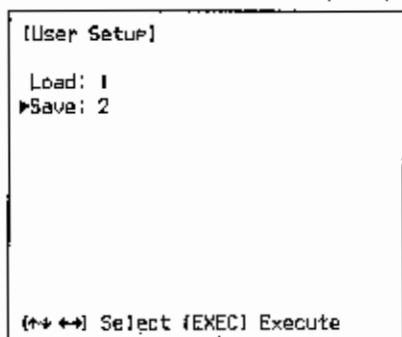
1 各メニューを設定して、User Setupメニューを呼び出す。

2  または  キーを押して、カーソルを「Save」に合わせる。



3  または  キーを押して、現在の設定状態を何番のデータにするかを選択する。

 または  キーを押すたびに、番号は1、2または3に切り換わります。すでに登録されている番号は反転表示されます。





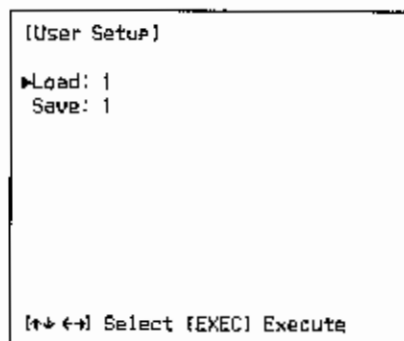
4 EXECキー (RM-C700の場合はEXEキー) を押す。



メニューの設定状態がデータとして登録されます。



ユーザーデータを呼び出すには

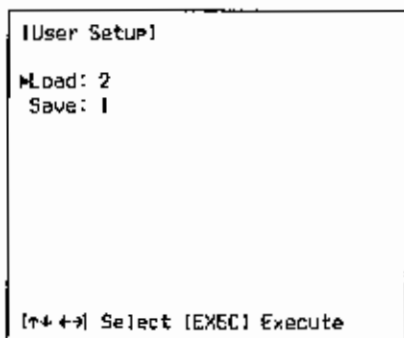
1 User Setupメニューを呼び出す。

2  または  キーを押して、カーソルを「Load」に合わせる。



3  または  キーを押して、呼び出したいデータの番号を選択する。

 または  キーを押すたびに、番号は1、2または3に切り換わります。呼び出し可能なデータの番号は反転表示されます。



4 EXECキー (RM-C700の場合はEXEキー) を押す。

各メニューの設定状態が、データとして記憶されていた状態に置き換えられ、本機はソースモードになります。

付録

仕様

一般

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	最大0.6A
動作温度	5~35°C
動作湿度	20%~80% (結露しないこと)
輸送/保存温度	-20~+60°C
輸送/保存湿度	20%~90% (結露しないこと)
質量	約7kg
外形寸法	212×130×380mm (幅/高さ/奥行き)

記録/再生方式

記録媒体	データ用ミニディスク MMD-140 相等品 (140Mバイト容量)
フォーマット	ピクチャーMD
圧縮/伸張方式	JPEG ベースライン (固定長)
画像サイズ	本画像: 656×496 クイックアクセス画像: 640×480 検索画像: 80×60
サンプリング (本画像の場合)	圧縮時: Y:U:V=4:2:2 非圧縮時: R:G:B=4:4:4

ビデオ特性

信号方式	NTSC、525ライン、60フィールド/秒、インターレース
量子化ビット数	R/G/B: 各8ビット
サンプリング周波数	12.273MHz
水平解像度	480TV本以上

入出力端子

ビデオ入/出力端子

VIDEO	BNC型各1 1.0Vp-p±10%、75Ω、同期負
S-VIDEO	ミニDIN 4ピン各1 Y: 1.0Vp-p±10%、75Ω、同期負 C: 0.286Vp-p±10%、75Ω

RGB/SYNC	BNC型各4 R/G/B: 0.7Vp-p±10%、75Ω SYNC: 4.0Vp-p±10%、75Ω
----------	---

リモート端子

RS-232C	D-sub 9ピン×1 受信レベル (5kΩ負荷時) ハイレベル: +5~+15V ローレベル: -5~-15V 送信レベル (3kΩ負荷時) ハイレベル: 約+7.5V ローレベル: 約-7.5V
FS1	D-sub 9ピン×1 別売りフットスイッチ FS-30 接続用端子
FS2	ステレオミニジャック×1 別売りフットスイッチ FS-20 接続用端子
EX-CTL	ミニジャック×1 外部機器をコントロールするトリガー信号出力端子 オープンコレクター出力 (最大DC 12V、0.1A)
FLASH	ミニジャック×1 出力: 耐圧DC 200V、0.3A
SCSI	50ピン、ハーフピッチ×1 出力 ハイレベル: 2.5V~5.25V ローレベル: 0V~0.4V 入力 ハイレベル: 2.0V~5.25V ローレベル: 0V~0.8V

付属品

- AC電源コード (1)
- ACプラグ変換 (3極→2極) アダプター (1)
- DKR-700 プラグインソフトウェア (2)
- 保証書 (1)
- 取扱説明書 (1)

別売り品

- MD データディスク MMD-140
- リモートコントロールユニット RM-C700
- フットスイッチ FS-20/FS-30
- RS-232C ケーブル SMF-3036C
- SCSI ケーブル KB-SPC06 (サンワ・サプライ社製)

付録

関連製品

カラービデオカメラ DXC-930シリーズ/950シリーズ
ビデオプリンター UP-1000シリーズ/5500シリーズ
FVMシリーズカラービデオモニター

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

エラーメッセージおよび警告メッセージ

本機の動作中にエラーが発生したり、誤った操作を行ったりすると、ビデオモニターの画面にエラーメッセージや警告メッセージが表示されます。

メッセージの意味と処置は次のとおりです。

エラーメッセージ

メッセージ	意味	処置
Rec Error	MDドライブが故障したため、記録時に管理情報ファイルのWrite/Readテスト (Verify) でエラーが発生し、ディスクが排出された。	ソニーのサービス窓口にご連絡ください。
Loading Error	MDドライブが故障したため、ディスクを挿入したとき、またはディスクを挿入した状態で電源を入れたときに、Write/Readテスト (Verify) でエラーが発生し、ディスクが排出された。	ソニーのサービス窓口にご連絡ください。
Pile Read Error	現在挿入されているディスクに前回アクセス中、電源が切れたため、今回の管理情報ファイルのサイズチェックでエラーが発生した。	現在挿入されているディスクの使用をやめる。
Init/Erase Error	MDドライブが故障したため、Initialize/All eraseに失敗し、または、Initialize/All erase後のWrite/Readテスト (Verify) でエラーが発生し、ディスクが排出された。	ソニーのサービス窓口にご連絡ください。
File Form Error	互換性のない上位バージョンのPICTURE MDフォーマットで記録されたディスクを挿入した。またはそのディスクを挿入した後、ディスクアクセスを試みた。	現在挿入されているディスクの使用をやめる。
TOC Read Error	MDドライブが故障しているか、ディスクが壊れているため、現在挿入されているディスクのTOCが読めない。	別のディスクと交換する。それでもエラーが解消しないときはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

警告メッセージ

メッセージ	意味	処置
No Disc	ディスクが挿入されていない状態で、記録または再生を行おうとした。	ディスクを挿入する。
Not Initialized	フォーマットされていないディスクを挿入した、またはフォーマットされていないディスクにアクセスした。	ALL ERASE/INITキーを押してディスクを初期化する。
Write Protect	書き込み禁止になっているディスクが挿入されている状態で、記録または消去を行おうとした。	ディスクの書き込み禁止を解除する。
No Image	画像が記録されていないディスクが挿入されている状態で、再生または画像検索を行おうとした。	画像が記録されているディスクを挿入する。
No Data	画像情報が記録されていないディスクが挿入されている状態で、画像情報リストの表示を実行しようとした。	画像情報が記録されているディスクを挿入する。
No More Rec	記録容量の残量がゼロの状態で、記録を行おうとした。	記録容量の残量がある状態で記録を行う。
Batt Empty	電源を入れたとき、リチウム電池の容量がなかった。	ソニーのサービス窓口にご連絡ください。
No Info. Area	ディスク名、ファイル名、ID番号、画像名などの書き込みエリアがない、本機以外の機器で記録されたディスクを挿入した状態で、それらの情報を入力しようとした、または書き換えようとした。	情報の入力または書き換えを行わない。

メッセージ	意味	処置
Erase Inhibit	本機以外の機器で記録され、消去禁止に設定されている画像を消去または上書きしようとした。	画像の消去または上書きを行わない。
Data Not Save	User SetupメニューのLoadを実行時、データが入力されていないデータ番号を指定した。	データが入力されているデータ番号を指定する。
Not Source Mode	本機がソースモード以外のモードになっているときにAll Eraseキーを押した。	Sourceキーを押して本機をソースモードにした後、All Eraseキーを押す。
Not Play Mode	本機が再生モード以外のモードになっているときにEraseキーを押した。	Playキーを押して本機を再生モードにした後、Eraseキーを押す。
Audio Disc	オーディオ用のミニディスクが挿入されたため、ディスクが排出された。	データ用のミニディスクを挿入する。
Not MD Data Disc	データ用またはオーディオ用以外のミニディスクが挿入されたため、ディスクが排出された。	データ用のミニディスクを挿入する。

故障かなと思ったら

本機を操作中に何か問題が起こったときは、ソニーのサービス窓口
に連絡する前に、下記に該当する項目がないか確認して対処して
ください。

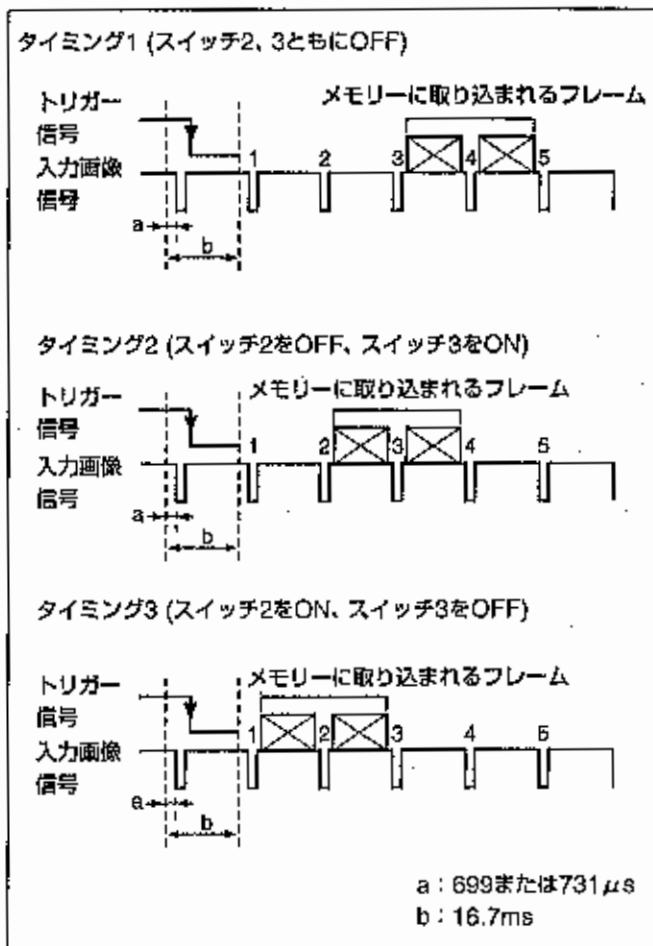
症状	原因/対策
POWERスイッチをONにしても、電源が入らない。	電源が正しく接続されているか調べる (16ページ)。
RECボタンを押しても記録が行われない。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが誤消去防止になっていれば解除する (18ページ)。 ディスクに空きがない (メニュー設定が上書き禁止になっているとき)。 →新しい初期化済みディスクを使うか (19ページ)、上書きできるようにCapture/Rec Setupメニューの設定を変える (38ページ)。 本機に対応する形式で初期化されていない。→ディスクを初期化する (19ページ)。
画面の上部が左右に大きくゆれる。	<ul style="list-style-type: none"> ノンインターレス信号を入力している。→インターレス信号を入力する。 水平周波数が15.75kHzの信号を入力している。→Source Setupメニューの「Skew Comp」をOFFに設定する (37ページ)。
静止画モードになったまま、何をしても受け付けない (ビデオカメラDXC-930シリーズ/950シリーズを接続しているとき)。	メニュー設定がCamera1になっていて、カメラが長時間露光モードになっていない。→カメラのシンク入力を止めるか、電源を切って、Capture/Rec Setupメニューの設定またはカメラの設定を変える (38ページ)。

フットスイッチによる画像の取り込みタイミング

フットスイッチを使って画像を取り込むときは、本機後面のDIPスイッチで、取り込みのタイミングを設定できます (17ページ参照)。以下の図に、画像がどのように取り込まれるかを示します。

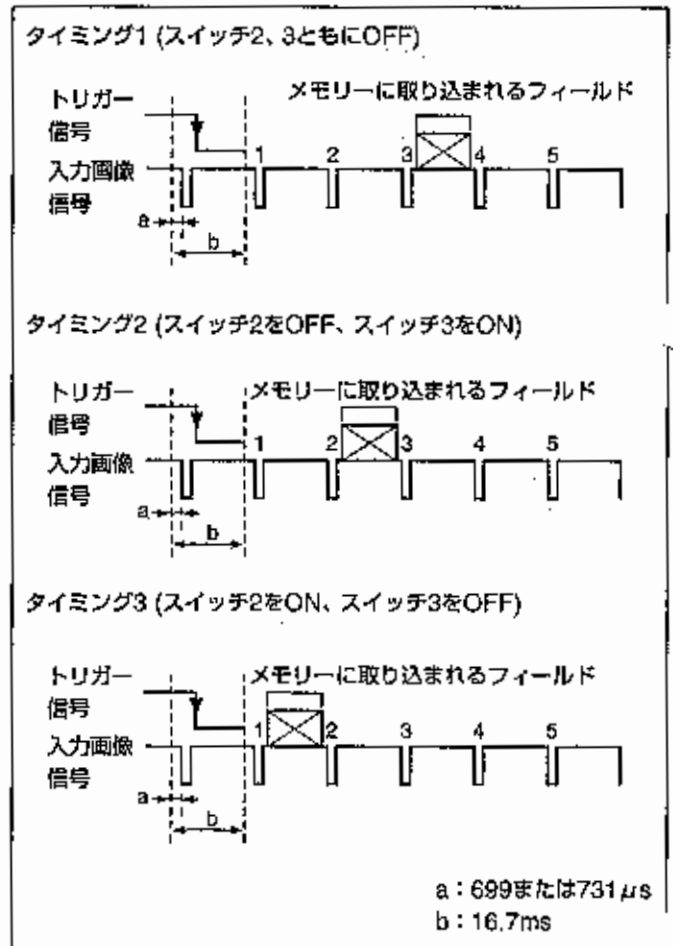
フレーム取り込みの場合

Capture/Rec SetupメニューのFrame/FieldをFrameに設定しておきます (38ページ参照)。



フィールド取り込みの場合

Capture/Rec SetupメニューのFrame/FieldをFieldに設定しておきます (38ページ参照)。



保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- この製品についてご不明な点は、保証書に記載のソニーサービス窓口にお問い合わせください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお確かめください。特に、「故障かなと思ったら」に該当する項目がないか、お調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にお問い合わせください。

お問い合わせ

ソニー株式会社 国内営業本部

北海道 営業所 (011)231-8121	名古屋 営業所 (052)201-8871
東北 営業所 (022)257-7830	北陸 営業所 (0762)40-8110
関東 営業所 (048)645-6880	京浜 営業所 (076)691-7860
新潟出張所 (025)270-3269	大阪 営業所 (06)531-4111
千葉 営業所 (043)297-8631	神戸 営業所 (078)322-0851
東京 営業所 (03)5448-6740	中国 営業所 (082)241-9211
東京システム営業所 (03)5448-6740	四国 営業所 (0878)31-3003
多摩 営業所 (0425)75-0201	九州 営業所 (092)741-2761
松本出張所 (0283)25-4551	システム営業1部/2部 (03)5448-5446
横浜 営業所 (045)243-8711	
静岡 営業所 (054)253-8162	